

春夏 spring-summer
2024

vol.
33

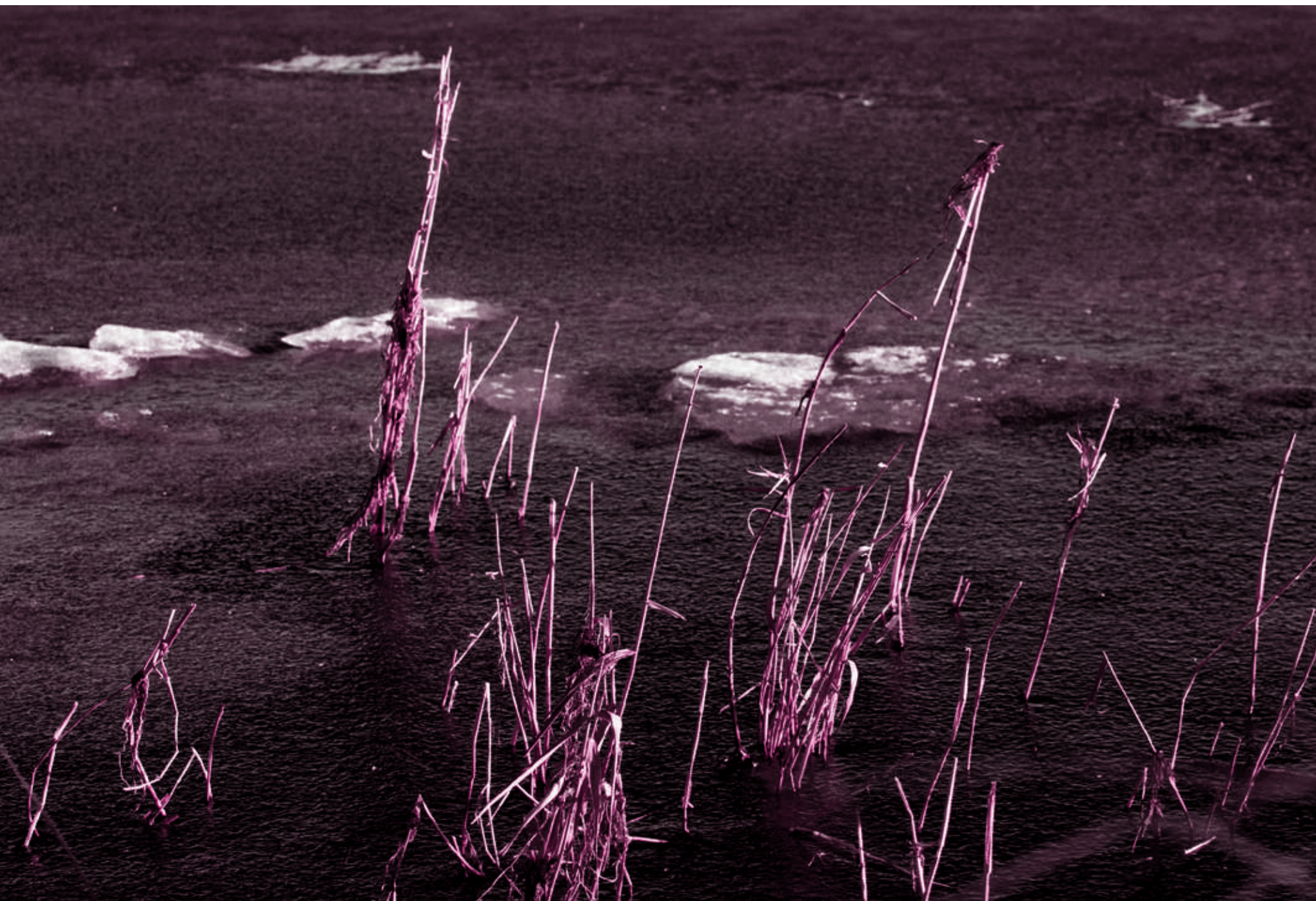
春風新聞

shumpu shimbun



春風社
Shumpusha Publishing Co., Ltd.
〒220-0044
横浜市西区紅葉ヶ丘53
横浜市教育会館3F
TEL (045)261-3168
FAX (045)261-3169
www.shumpu.com
✉ info@shumpu.com

- 【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文学評論 5 / 小説・詩歌・エッセイ 6 / 演劇・音楽・芸術 7 / 総記・辞典・事典 7 / 東洋英和女学院大学社会科学叢書 7 / 教育 8 / 言語・心理 9 / 横浜市立大学新叢書 9 / 立教大学人文叢書 9 / 社会・歴史・政治 10 / 人類学 11 / シリーズ来たるべき人類学 12
- 【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しりあがり寿 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8 / コ・プレゼンスの時代へ 吉原直樹 9 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10
- 【コラム】 自著を語る 11 / 春風接人 12



謙道は常に此の世に賤まる。
誘者は是を以て我をして世に
高からしめんと試む。然れ
ども生発繁栄の種子は必ず
謙地に播かざるべからず。
地下に入りて化するまでは、
忍耐を要するなり。

写真

ことば

『新井奥達著作集』三巻四三三頁
『おうすいポケット 新井奥達語録抄』七〇頁より
角ぐむ葦

二〇一三年七月二日、東京学芸大学教育学部で指導にあたられ『現代の学校を読み解く』（春風社、二〇一六年）の編著者でもある末松裕基先生と、春風社代表の三浦衛が、学部生を前に対談を行いました。その様子を前半・後半の二回に分けてお伝えします（後半は本紙次号掲載）。

出合いのきっかけ

末松 きょうは「教育組織論」というテーマの授業ですが、思い切って脱線しながら、「教育について、もっと、もっと語ろう」というタイトルのもとで楽しく進めたいと思います。ゲストは春風社代表の三浦衛さん。私の読書の師匠でもあります。

三浦 春風社の三浦です。僕は秋田出身ですが、大学を出てから神奈川県横浜須賀市の高校に教員として七年間勤め、そのあと東京の出版社に一〇年勤めました。その出版社で明日から一年目に入る、という前の日、ちょうど丸一〇年のタイミングで倒産しました。東京の赤羽にある会社で、その元社員三人で「どうしようかな」と話しているうちに、酒の勢いで「会社をつくらう」となり、つくったのが春風社です。一九九九年の一月一日に会社ができて、二〇一三年時点で二四年目になります。『現代の学校を読み解く』を春風社で出させていただいた縁をきっかけに、末松先生には、いろいろな対談や鼎談に参加いただいたこともあって、きょうここに立つことができました。本当にうれいす。

WBCの試合には僕も興奮しました。そのあと『栗山ノート』（光文社、二〇一二年）を読みました。栗山さんが大変な読書家であることがうかがえますが、一番感動したのは、森信三という人物が出てきた箇所です。直接の面識はないのですが、僕の人生で森信三は外すことができません。『栗山ノート』では、森信三のことを「不世出の哲学者」で「もうこれから世の中にあらわれない哲学者だ」と書かれ、森信三の本を何冊も紹介されています。

「教育に」もつと、もつと語ろう

高校教員を経て出版社に

末松 三浦さんは元・高校教員で、社会科の担当だったんですね。あと、演劇もなさっていたとかかかっています。

三浦 まもなく一〇〇〇点です。ジャンルとしては、教育学も大きな柱ですし、ほかに思想・哲学、文学、人類学、社会学などもあります。翻訳書も増えてきました。末松 人文系や社会科学系の本は「無機質で、授業のためだけに使って、一年経ったら古書店にも売れない」みたいな本もありますが、春風社の本はデザインも凝っていて「物としての本を非常に大事にしている」ということで私は憧れを抱いていました。あるとき、駄目元で原稿を持って飛び込んだら一発でOKしてくれた。そういう関係が続いています。

末松裕基（東京学芸大学）

末松 もともと三浦さんは高校の教員でしたので教育に関心がないわけではない。私の場合は、教育について楽しい経験ももちろんありますが、苦い経験もあるからこそ教育学を始めたんです。もっと先生から教えてほしいから真っ当に勉強できなかったから真っ当に扱われなかった。先生にとっては都合の悪い学生でした。実際、私の教育実習は「受け入れを拒否する」と宣言されていましたので母校の高校では受けられなかったんです。だから私は「大人」を本能的に嗅ぎ分けてきたし、三〇歳を超えて一回りしましたから、自分も皆さんからそういう「大人」に見えているのだろうという感覚で、「日々自分を鍛えないといけない」と思っているわけです。

三浦 歳をとったからだと思えます。僕はいま六五歳で、一月で六六歳になります。春風社を創業し、新井奥遼の著作集を出したときの夢というか志は、「五〇年後に新井奥遼が教科書に載る」ということでした。五〇年後には僕はもうこの世にいませんが、「自分が死んだ後でも、自分が出した本が誰かの手に渡って読まれる」ということは、やはり生きがいです。そういうことを考えると、きょう皆さんの前で即興的にしゃべっている、「薄緑は決して浅い縁ではない」と思っています。限られた時間

三浦衛（春風社代表）

三浦 僕は秋田の田舎の学校の出身です。いま秋田は人口減少が著しく、母校の小学校は統合されて一つになり、そのあと中学校とも統合されて「義務教育学校」になりました。田舎の小さい学校だったということは、僕にとっ

ですが、「皆さんに何か参考になるところが一つでもあったらいいな」という思いで来ました。末松 もともと三浦さんは高校の教員でしたので教育に関心がないわけではない。私の場合は、教育について楽しい経験ももちろんありますが、苦い経験もあるからこそ教育学を始めたんです。もっと先生から教えてほしいから真っ当に勉強できなかったから真っ当に扱われなかった。先生にとっては都合の悪い学生でした。実際、私の教育実習は「受け入れを拒否する」と宣言されていましたので母校の高校では受けられなかったんです。だから私は「大人」を本能的に嗅ぎ分けてきたし、三〇歳を超えて一回りしましたから、自分も皆さんからそういう「大人」に見えているのだろうという感覚で、「日々自分を鍛えないといけない」と思っているわけです。

【前半】

は具体的に齋藤喜博や林竹二という教育者、教育学者が大きい存在なのかなと思います。三浦 僕は秋田の田舎の学校の出身です。いま秋田は人口減少が著しく、母校の小学校は統合されて一つになり、そのあと中学校とも統合されて「義務教育学校」になりました。田舎の小さい学校だったということは、僕にとっ

は具体的な齋藤喜博や林竹二という教育者、教育学者が大きい存在なのかなと思います。三浦 僕は秋田の田舎の学校の出身です。いま秋田は人口減少が著しく、母校の小学校は統合されて一つになり、そのあと中学校とも統合されて「義務教育学校」になりました。田舎の小さい学校だったということは、僕にとっ



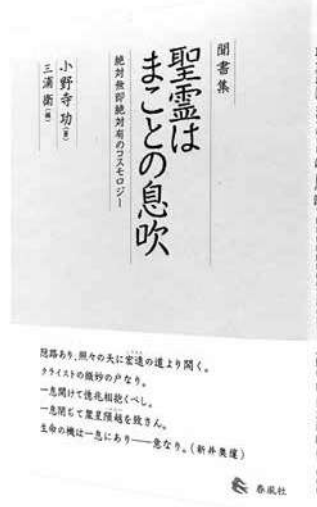
の略史を兼ねて『出版は風まかせ』（春風社、二〇〇九年）を刊行しました。その本を秋田にいる伊藤陽子先生のところを持って行きまして、先生はびっくりされて「小学校一年生の時のことを、そんなふうに思ってくれて」とおっしゃってくださった。そういう人との縁が大事だなと感じます。僕が教師になったのは、「教師になろうと思った」というよりは、さきほど末松先生が名前を出しかないんです。僕は「薄緑は決して浅い縁ではない」と言いました。小学校一年生の担任が伊藤陽子という先生でした。その一年間しか担任をやらなかったのですが、二年生にならぶときに「二年生になっても頑張りなさいね」と、ノートをもらった。それが何十年たっても忘れられないんです。その後、自分が教員になり、東京の出版社に一〇年勤め、そこが倒産して、自分で会社をつくり一〇年経ったとき、「なんとか一〇年続いた」ということで会社

あげた林竹二さんの影響です。大抵の本を集中的に読んでいた時期がありました。授業の記録や写真集などを見て、「林さんの授業って、こんなところまでいくんだ。子どもたち、こんな顔をするんだ」と驚いて、「教師になろう」というよりは「林さんのような授業をしたい」と思って教師になりました。秋田の山奥から出てきて、横須

哲学・思想・宗教

◎各書籍の左下に¥で示している数字は紙の書籍の税抜価格です。

聖霊はまことの息吹



聞書集
聖霊はまことの息吹
絶対無即絶対有の
コスモロジー
小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) 著
三浦衛 (春風社代表) 編

故郷若手での少年期の神秘体験以来、世界の思想とひたすらに格闘してきた哲学者が、いま、九十年にわたる思索の根源について語る。
四六判上製・六〇頁
定価(一〇〇〇円+税)
ISBN 978-4-86110-899-0



幕末期の陽明学者らに注目し、「誠中心の儒学」に代表される陽明学の既存の認識を再検討し、幕末期の儒学思想史像の刷新を企図する。
四六判上製・三三六頁 定価(4100円+税)
ISBN 978-4-86110-922-5

アーレントと救しの可能性

反時代的試論
森一郎 (東北大学大学院教授)



人間愛の美名の下に無世界性がはびこる時代に、救される者と救す者とともにあらたに始めさせる奇蹟はどこから来るのか。時代に抗しつつ、求たるべき時代のための思考をひらく。
四六判上製・四六二頁 定価(4300円+税)
ISBN 978-4-86110-944-7

幕末期の

《陽明学》と明末儒学
修己と天人関係を中心
古英文 (立命館大学初任研究員)

幕末期の陽明学者らに注目し、「誠中心の儒学」に代表される陽明学の既存の認識を再検討し、幕末期の儒学思想史像の刷新を企図する。
四六判上製・三三六頁 定価(4100円+税)
ISBN 978-4-86110-922-5

長谷川宏

28 祈りの場

日々の風

暮らしのなかの哲学

昨年十一月末に、わが長谷川一族の年一度の集まりを四国の徳島でもった。コロナ禍がおさまったとは言いつても時期だったが、みんな楽しんで過ごそうという声が多数を占め、集まることに一決した。
参加したのは七、八十歳の爺・婆の世代、四、五十歳の父・母の世代、その子どもたちの世代の老若男女で、合わせて二十二人という賑やかな一行だった。
一泊二日の旅程は、一日目の昼が大塚国際美術館見学、夜が海鮮料理と地酒・ジュースの宴会、二日目の昼は紀伊水道のむこうに淡路島と紀伊半島を望む小高い丘を散策したのち、空港近くのレストランで洋食。三世代が思い思いに体を動かし、眼福に浸り、おしゃべりに興じる、楽しい時間の流れだった。わたしにとってなによりうれしかったのは、数年前に訪れた大塚国際美術館を再訪できたことで、館への親しみが増すのが強く実感された。
古代から近現代に至る洋画の名作を陶板のモザイクで複製し、広い館内に順序立てて陳列したのがこの美術館だ。フレスコ画や油絵と陶板のモザイク画とは色も質感も大きくちがうから、目の前の絵が模

造品であるのはどう否定しようもないが、陶板の全体としてくすんだ薄茶色の色調ゆえに、見ていてちがいがさほど気にかからない。陶工のセンスの冴えが思われる。
それにもまして好ましいのは、古代・中世の聖堂が、大きさも形も原物そのままに造形されていることだ。内部の柱や壁や登壇や調度も本物をつくりだすに作られているから、中に入つてしばらく佇んでいると、別の時間を生きている気分になる。その点からすると、システイーナ礼拝堂のような大規模で華麗な建造物よりも聖ニコラオス・オルファノス聖堂のような、こぢんまりとした鄙びた建物のほうが気持ち落ち着く。場と自分が一つになり、自分も聖堂もただ無心にそこにあるという純粋な存在に感じられるからだ。なにかがそこから生まれる、その原初の状態に近づこうように思える。
美術館の質素な聖堂のなかでそんな感覚が不意に生まれてきて、無信仰を自任するわたしの脳裡に「祈りの場」という宗教的なことばが浮かんだのだ。(哲学者)

環境を批評するー英米系環境美学の展開

青田麻未 (群馬県立女子大学専任講師)
ISBN 978-4-86110-698-9 ◆ ¥4000

小鳥が歌うー古いポルトガル語による聖母マリアの詩

菊地章太 (東洋大学教授)
ISBN 978-4-86110-694-1 ¥3600

16世紀後半から19世紀はじめの朝鮮・日本・琉球における《朱子学》遷移の諸相

片岡龍 (東北大学教授) ISBN 978-4-86110-681-1 ¥5400

死ぬ権利はあるかー安楽死、尊厳死、自殺補助の是非と命の価値

有馬斉 (横浜市立大学教授) ISBN 978-4-86110-624-8 四刷 ◆ ¥4300

朝鮮儒学の巨匠たち 韓祥祚 (韓國中央研究院教授) 著/片岡龍 (東北大学教授) 監・解説/朴徳美 (韓國語教室主宰) 訳

ISBN 978-4-86110-500-5 ¥5500

論理学 はじめの二歩ーオライオン図とペン図で知る伝統的論理学

菅沢龍文 (法政大学教授) ISBN 978-4-86110-738-2 二刷 ¥1300

日本におけるイスラーム研究史ー中国篇

アリム・ト・ヘイ (東北大学助教) ISBN 978-4-86110-632-3 ¥4000

キルケゴールの実存解釈ー自己と他者

河上正秀 (筑波大学教授) ISBN 978-4-86110-597-5 ¥3500

深い河の流れー宗教多元主義への道

長谷川 (間瀬) 恵美 (桜美林大学准教授) ISBN 978-4-86110-604-0 ¥2200

そこには何かあるー「この自分」が在るといふ不思議

牟田隆郎 (元聖学院大学教授) ISBN 978-4-86110-612-5 ¥1800

人間形成としての教養ーハンガリー、フィンランド、日本におけるドイツ的受容と将来展望

高橋輝暁編 ISBN 978-4-86110-596-8 ¥2000

律から密へー晩年の慈雲尊者

秋山学 (筑波大学教授) ISBN 978-4-86110-600-2 ¥5500

哲学 はじめの二歩 立正大学文学部哲学科編

楽しむ ISBN 978-4-86110-541-8 三刷 各¥1500
働く ISBN 978-4-86110-542-5 三刷

哲学 はじめの二歩 全四巻函入

立正大学文学部哲学科編 ISBN 978-4-86110-459-6 二刷 ¥3241

徂徠と眞淵

末木恭彦 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-494-7 ¥3500

随想 西田哲学から聖霊神学へ

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-464-0 ¥3500

エコ・ファンタジーー環境への感度を拡張するために

山田利明 (東洋大学名誉教授)・河本英夫 (東洋大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-468-8 ¥3500

死生学ー死の隠蔽から自己確信へ

岩崎大 (東洋大学東洋学研究所客員研究員) ISBN 978-4-86110-438-1 ¥3982

サルトルとマルクスーII

北見秀司 (津田塾大学教授) ISBN 978-486110-213-4 / ISBN 978-486110-214-1 各巻 ◆ ¥3333

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション

稲垣論 (東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-303-2 三刷 ¥2381

横超の倫理ーローティ、ハイエク、シンガーを超えて

谷口隆一郎 (聖学院大学教授) ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333

直接知の探求ー西田・西谷・ハイテッカー・大拙 松丸壽雄 (獨協大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

《文化》の思想ー現代日本の位置から

西欣也 (甲南大学教授) ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200

『方法叙説をめぐって』の試論

小林利夫著/徳永雅編 ISBN 978-4-86110-254-7 ◆ ¥3619

学びむものとしての人間ー「故郷喪失」と学びのニヒリズムを超えて

吉村文男 (京都教育大学名誉教授) ISBN 486110078X ● ¥2800

新井奥邃

新井奥邃著作集 (1、2、4、10巻品切)
工藤正三 (新井奥邃先生記念会幹事)・コールド
ニール (元福岡女学院大学教授) 共編 各巻 ¥6500

ハンナ・アーレントの政治哲学の射程ー開発という活動の再考に向けて 奥井剛 (京都大学高等研究院トト生物学高等研究拠点特定研究員) 開発という活動の意味を、ハイデガーによる技術論や、アーレントによる行為の概念、カント政治哲学の解釈に照らして再検討する。
ISBN 978-4-86110-869-3 ¥4000

インターフェイス・スピリチュアルケア 永遠と対話の根源へ
小西達也 (武蔵野大学教授) 「異なる信仰間の」を意味するインターフェイスは関係性において終末期の心のケアはいかにして可能か。理論化への真摯な問い。
ISBN 978-4-86110-866-2 ¥5000

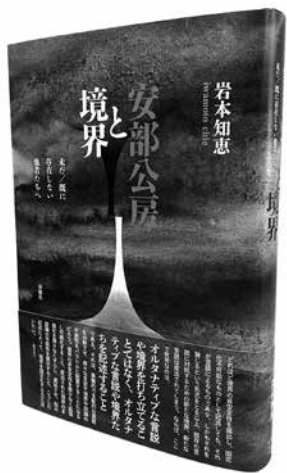
現代の皮膚感覚をさぐるー言葉、表象、身体
平芳幸浩 (京都工芸繊維大学教授) 編 デジタル・デバイスが浸透し、ヴァーチャルな空間での活動が増加する現代の表現行為や日々の営為における皮膚感覚、その意義と可能性に触れなす。
ISBN 978-4-86110-849-5 二刷 ¥3700

カント伝 マンフレッド・キューン 著/菅沢龍文 (法政大学教授)・中澤武 (長野大学ほか非常勤講師)・山根雄一郎 (東文化大学教授) 訳
新たな諸資料を多く取り上げ、生涯から最晩年に至るまでをたどる。通俗的なカント像を打ち破る最も詳細な伝記、希望の新訳。
ISBN 978-4-86110-479-4 二刷 ¥9000

日本の神学を求めて
小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-809-9 ¥2200

日常の冒険 ホワイトヘッド、経験の宇宙へ
佐藤陽祐 (中央大学助教) ISBN 978-4-86110-748-1 ¥3800

文学評論



安部公房と境界

岩本知恵
未だ／既に存在しない他者たちへ
（立命館大学衣笠総合研究機構専攻科研究員）
捉えようとすればするほど曖昧になりがちな境界に着目し、安部公房作品をさまざまな境界を問い直し攪乱する実践として論じ読み取る。
四六判上製・二八六頁 定価（4000円＋税） ISBN 978-4-86110-940-9

近代朝鮮文学と民衆

影本剛（立命館大学ほか講師）
日本語の研究ではあまり扱われてこなかった作家や雑誌も取りあげ、日本における朝鮮文学・韓国文学の認識を一新、画期的役割を果たす。
四六判上製・三〇六頁 定価（4000円＋税） ISBN 978-4-86110-949-2

十九世紀小説の誕生

新野緑（ワートルダム清心女子大学教授）
『ボズのスケットチ』から『バーナビー・ラッジ』に至る前期小説6編におけるジャンル、モチーフの変容に着目し、作家的発展の軌跡をたどる。
四六判上製・三三六頁 定価（4000円＋税） ISBN 978-4-86110-917-1

私たちはシエイクスピアの同時代人

中村友紀（関東学院大学教授）
映画にみる現代人のルネサンス的心性
シエイクスピア再生産の長きにわたる持続の理由を探り、現代の個人や社会の中に近代初期的な思考や諸価値が生きていることを断言する。
四六判上製・三〇八頁 定価（3600円＋税） ISBN 978-4-86110-961-4

世紀転換期文学の思想空間—明治文壇の二子工熱と宗教の季節 清松大（宮崎産業経営大学専任講師） 近代日本宗教の確立期でもあった明治30年代という過渡期の思想的混沌に焦点を当て、「惑乱」に揺れる文学空間の実相を多様な角度から照射する。
ISBN 978-4-86110-956-0 ¥4000

ドストエフスキー エゴソートの変容 木寺律子（京都産業大学准教授） 『おかしな男の夢』や『悪霊』など複数の作品における類似するエピソードの共通点と相違点を丹念に精査し、作家の考えがいかに変化し発展していったのかを読み取る。
ISBN 978-4-86110-928-7 ¥3500

時空をかける詩人たち—文理越境のアメリカ詩論 江田孝臣（早稲田大学名誉教授） エミリー・ディキンソンと物理学、H・D・ソローと冒険的資本主義、ハート・クレインの数学的次元超越……文理を自在に越境し、アメリカ詩論に新地平を拓く。
ISBN 978-4-86110-901-0 ¥3000

オースティンとエリオット—深遠なる関係の謎を探る 物谷美智子・新野緑編 ISBN 978-4-86110-863-1 ¥3100
1960s 失踪するアメリカ—安部公房とポール・オースターの比較文学的批評 大場健司 ISBN 978-4-86110-851-8 ¥4500

賢治の前を歩んだ妹 宮沢トシの勇進 山根知子（ワートルダム清心女子大学教授） ISBN 978-4-86110-867-9 ¥4500
越境のバラタイム、バラタイムの越境—フュズリ絵画から魔法使いハウルまで 今村武・佐藤憲一編 ISBN 978-4-86110-852-5 ¥4500

『狐物語』とその後継機軸作におけるヒロイニーと風刺 高名康文（成城大学教授） ISBN 978-4-86110-853-2 ¥4500
人形とイギリス文学—フロンテからロレンスまで 川崎明子（駒澤大学教授） ISBN 978-4-86110-845-7 ¥3400

ロマン主義的感性論の展開—ノヴァーリスとその時代、そしてその先へ 高橋優（福島大学准教授） ISBN 978-4-86110-835-8 ¥3600
終わりの風景 辻和彦（近畿大学教授）・平塚博子（日本女子大学准教授）・岸野英美（近畿大学准教授）編 ISBN 978-4-86110-823-5 ¥3100

予測と創発—理知と感情の人文学 中村靖子（名古屋大学大学院教授）編 ISBN 978-4-86110-836-5 ¥4500

《線》で読むディケンズ—速記術と想像力 松本靖彦（東京理科大学教授） ISBN 978-4-86110-747-4 ¥3600
書きかえる女たち—初期近代英国の女性による聖書および古典の援用 竹山友子（関西学院大学准教授） ISBN 978-4-86110-780-1 ¥3900

めづむの風景 フアン・ルルフォの創作と技法 仁平ふくみ（京都産業大学准教授） ISBN 978-4-86110-784-9 ¥4500
ジャコモ・レオバルディー—ロマン主義的自然観と《無限》の詩学 古田耕史（早稲田大学准教授） ISBN 978-4-86110-801-3 ¥6000

十八世紀スイス文学とシュトゥルム・ウント・ドラング—源流としての美学的共和主義 今村武（東京理科大学教授） ISBN 978-4-86110-757-7 ¥4000
フォークナーの『サンクチュアリ』再読／改稿—語り手の再編成 岡田大樹（東京農業大学助教） ISBN 978-4-86110-779-5 ¥3500

森鷗外、創造への道程 小倉斉（愛知淑徳大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-789-4 ¥5364
自然と人生とのあいだ—自然主義文学の生態学 永井聖剛（愛知淑徳大学教授） ISBN 978-4-86110-790-0 ¥4291

文学とアダプテーション—ヨーロッパの古典を読む 小川公代（上智大学教授）・吉村和明（上智大学准教授）編 ISBN 978-4-86110-755-9 ¥3600
希望の本質—サミュエル・ジョンソンの思想と文学 石井善洋（広島修道大学教授） ISBN 978-4-86110-776-4 ¥3500

我、アメリカノ敵ヲ発見セリ—ハイラインの青少年向け小説における白人性 島克也（安田女子大学准教授） ISBN 978-4-86110-746-7 ¥3900
漱石論集 ニッポのゆぐえ 斉藤恵子（大妻女子大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-763-4 ¥4500

日本語文化学会創立45周年記念論文集 英語文化研究 日本語文化学会編 ISBN 978-4-86110-745-0 ¥4000
ジェイン・オースティンのクロテスクな笑い—困った人たち 岡本由恵 ISBN 978-4-86110-731-3 ¥3600

モダニズムの胃袋—ウァーシニア・ウルフと同時代の小説における食の表象 大西祥恵（追手門学院大学専任講師） ISBN 978-4-86110-690-3 ¥2700
異形のビューリタン—ジョン・ウインズロップ・ジュニアとトランスアトランティック・トランザクション 佐藤憲一 ISBN 978-4-86110-712-2 ¥3900

ブルーロックの世界—T・S・エリオットの限りなく悩めるもの 遠藤光（実践女子短期大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-672-9 ¥4500
スコットランド文学の深層—場所・言語・想像力 木村正俊（神奈川県立外語短期大学名誉教授）編 ISBN 978-4-86110-689-7 ¥3700

American Measure: William Carlos Williams's Vision of Free Verse 吉田亞矢 ISBN 978-4-86110-732-0 ¥5000
中世英語文学研究の多様性と展望 菊池清明・岡本広教編 ISBN 978-4-86110-714-6 ¥8000

最強の男—三國志を知るために 竹内真彦（龍谷大学教授） ISBN 978-4-86110-702-3 ¥2000
個から群衆へ—アメリカ国民文学の鼓動 佐久間みかみ（学習院女子大学教授） ISBN 978-4-86110-663-7 ¥3400

神西清の散文問題 小林美（十文字学園女子大学教授） ISBN 978-4-86110-667-5 ¥3900
ホール・ボウルズ 越境する空の下で 外山健一（山口大学教授） ISBN 978-4-86110-683-5 ¥4500

Shakespeare Performances in Japan: Intercultural-Multilingual/Translingual 浜名恵美（筑波大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-657-6 ¥5500
救いと寛容の文学—ゲートからフォークナーまで 今村武・内田均・川村幸夫・佐藤憲一編 ISBN 978-4-86110-654-5 ¥3500

めぐりあうテキストたち—フロンテ文学の遺産と影響 惣谷美智子・若上はる子編 ISBN 978-4-86110-629-3 ¥3500
村上春樹 精神の病と癒し 南富鎮（静岡大学教授） ISBN 978-4-86110-652-1 ¥2700

ジェイムズの拡がり—インターテキスト・絵画・歴史 田村章（金城学院大学教授） ISBN 978-4-86110-625-5 ¥3500
揺れ動く《保守》—現代アメリカ文学と社会 山口和彦（上智大学教授）・中谷崇（横浜国立大学准教授）編 ISBN 978-4-86110-609-5 ¥3500

黙って踊れ、エレクトラ—ホフマンスタールの言語危機と日本 関根裕子（早稲田大学ほか講師） ISBN 978-4-86110-637-8 ¥4200
非在の場を拓く—文学が紡ぐ科学の歴史 中村靖子（名古屋大学大学院教授）編 ISBN 978-4-86110-635-4 ¥4100

エミリー・ディキンソンを理詰めで読む—新たな詩人像をもとめて 江田孝臣（早稲田大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-605-7 二刷 ¥3000
アレゴリーで読むアメリカ／文学—ジェンダーとコジックの修辭学 武田悠一（元南山大学准教授） ISBN 978-4-86110-569-2 ¥3500

文学という名の愉楽—文芸批評理論と文学研究へのアプローチ 寒河江光徳（創価大学教授） ISBN 978-4-86110-595-1 三刷 ¥2200
キャサリン・マンスフィールド—荒地を吹き渡る風のように自由 手塚裕子（川村学園女子大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-553-1 ¥3200

文学都市タフリン—ゆかりの文学者たち 木村正俊（神奈川県立外語短期大学名誉教授）編 ISBN 978-4-86110-518-0 ¥3700
スコットランド、一八〇三年—ワーズワス兄妹とコルリツの旅 安藤潔（関東学院大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-529-6 ¥2700

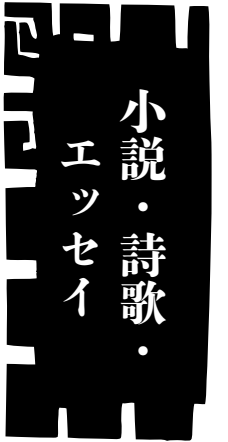
フロンテ小説における病いと看護 川崎明子（駒澤大学教授） ISBN 978-4-86110-427-5 ¥3500
秘密のラティガン—戦後英国演劇のなかのトランス・メディア空間 大谷伴子 ISBN 978-4-86110-448-0 二刷 ¥2700

マーガレット・オブ・ヨークの「世紀の結婚」—英国史劇とブルジョア公園 大谷伴子 ISBN 978-4-86110-419-0 一刷 ¥2700
交錯する戦争の記憶—占領空間の文学 黄益九（在日コリアン研究所） ISBN 978-4-86110-422-0 ¥3300

カズオ・イシグロ—《日本》と《イギリス》の間から 莊中孝之（京都女子大学教授） ISBN 978-4-86110-255-4 三刷 ¥3000
シリーズ
幻想と怪奇の英文学 東雅夫（アンソロジー、評論家）・下楠昌哉（同志社大学教授）編 ISBN 978-4-86110-404-6 二刷 ¥2700

幻想と怪奇の英文学II—増殖進化編 東雅夫・下楠昌哉編 ISBN 978-4-86110-516-6 ¥3200
幻想と怪奇の英文学III—転覆の文学編 東雅夫・下楠昌哉編／ローズマリー・ジャクソン著／下楠昌哉訳 ISBN 978-4-86110-622-4 ¥3700

幻想と怪奇の英文学IV—変幻自在編 東雅夫・下楠昌哉編 ISBN 978-4-86110-699-6 ¥3000



小説・詩歌・エッセイ

アウター・ダーク

外の闇

コーマック・マッカーシー 著

山口和彦 (上智大学教授) 訳

近親相姦により赤子をもうけた兄と妹が、彷徨を重ね、行きついた先に見たものは？

アメリカ南部で極度の貧困に喘ぎながら生きる人々の暗澹たる世界を寓意的に描く。

四六判並製・三三四頁 定価(2500円+税)

ISBN 978-4-86110-895-2 一刷

アンティコニ

北米先住民のソフォクレス

ベス・ハイアート (カリフォルニア大学准教授) 著

初見があり (西南学院大学准教授) 訳

北米先住民の血を引く娘アンティコニが、ワシントンDCの博物館から祖先の遺骸を盗み出した、その顛末を語る。ギリシア悲劇の翻案が描く、先住民と近代知をめぐる暴力と責任。

四六判並製・二五四頁 定価(1950円+税)

ISBN 978-4-86110-913-3

投歌選集

立秋すぎで

三角清造 (歌人)

四季の花々から教員生活、趣味のカヌーまで、川の流れてたゆたうように詠みつけた短歌の中で、新聞歌壇で入選した四二三首を収載。

四六判上製・二六四頁 定価(2200円+税)

ISBN 978-4-86110-915-7

新先蹤録―秋田高校を飛び立った俊英たち

秋田高校同窓会新先蹤録委員会編

「わが生わが世の天職いかに」―秋田県立秋田高等学校創立一五〇周年記念。各方面で活躍し大きな足跡を残した三八名それぞれのライフストーリーをまとめる。

ISBN 978-4-86110-872-3

ISBN 978-4-86110-837-2 ◆

つまみ食いエッセイ集―栄養のない野菜

山田英美 (山梨大学名誉教授)

子どものころから好奇心旺盛、いまでも興味は植物、絵画、料理、旅……と、とどまることを知らない著者が綴る、道草のライフのすずめ。

ISBN 978-4-86110-881-5

ISBN 978-4-86110-878-5

カフカエスタクを超えて―カフカの短篇を読む

松原好次 (元電気通信大学教授)

パンデミックや戦争など超現実的とも思える事態が起きている現実世界と対峙しつつ、カフカの短篇を読む。エッセイ集「ことばへの気つき」の続篇。

ISBN 978-4-86110-846-4

ISBN 978-4-86110-833-4

ダグラス

ジョン・ヒューム 著

三原穂 (愛知県立大学教授) 訳

シェイクスピアからの影響を受けた、ゴシック演劇の先駆『ダグラス』が、時代の香気をたたえた格調高い新訳でよみがえる。

ISBN 978-4-86110-833-4

ISBN 978-4-86110-833-4

わたしの学術書―博士論文書籍化をめくって

春風社編集部編

生きていくなかで「深く学ぶこと」を軸に据え、学術出版社・春風社で博士論文を出版した研究者総勢五八名による、博士論文書籍化体験記エッセイ。

ISBN 978-4-86110-761-0 二刷

ISBN 978-4-86110-761-0 二刷

果樹園の守り手

コーマック・マッカーシー 著 / 山口和彦 (上智大学教授) 訳

権力や法の支配を避け、社会の末端で暴力に晒されながら生きる者たちの姿を描く。一九三〇年代米国内部を舞台とした、交差する三人の物語。

ISBN 978-4-86110-832-7 二刷

ISBN 978-4-86110-832-7 二刷

祇園祭の物語

小谷野裕子 (エッセイスト)

二〇年以上にわたって祇園祭の取材を重ねてきた著者が、その魅力と歴史を語る。伝統文化を守り支える人たちの姿を写真！ カラー図版も掲載。

ISBN 978-4-86110-816-7

ISBN 978-4-86110-816-7

ユゴー詩アンソロジー 夏の雨・冬の天使

ヴィクトル・ユゴー 著

宇多直久 (元滋賀大学講師) 編訳

ユゴーの古典的研究者パレルの「人間の側にあるのはエロス、自然の側にあるのは牧神パン」の思想を踏まえ、精選した愛惜の訳詩五〇余篇。

ISBN 978-4-86110-810-5

ISBN 978-4-86110-810-5

アウェルノ

ルイース・グリユック 著 / 江田孝臣 (早稲田大学名誉教授) 訳

自伝は神話化され、神話は自伝化される。抒情と暗示と謎に富むその作品は、読む者を魂との対話に誘う。ノーベル文学賞受賞女性詩人の第一〇詩集、初訳。

ISBN 978-4-86110-792-4 二刷

ISBN 978-4-86110-792-4 二刷

ビロシイ・タンホア

ジョージ・チャップマン 著

川井万里子 (東京経済大学名誉教授) 訳

シェイクスピアのライヴァル劇詩人の最高傑作。一六世紀フランス宮廷における愛と死の悲劇に、人間の根本的な非合理性が描かれる。

ISBN 978-4-86110-777-1

ISBN 978-4-86110-777-1

翻訳ピンチ! 中条省平 SHOHEI CHUJO

32

『三十棺桶島』あれこれ その3

江戸川乱歩は『続・幻影城』の有名な「類別トリック集成」で「筋書き殺人」という一項を立てました。

ここには6例が出ていて、クイーンの『Yの悲劇』、クリスティの『ABC殺人事件』、ブレイクの『野獣死すべし』といったミステリー史上に残る名作のほか、横溝正史の『獄門島』と『八つ墓村』も入っています。しかし、年代的に一番古いものは、谷崎潤一郎の小説『呪はれた戯曲』で、発表は1919 (大正8) 年の「中央公論」5月号です。

ルブランの『三十棺桶島』は載っていませんが、この作品の主眼はまぎれもなく「筋書き殺人」です。それでは、発表年はいつかという、奇しくも『呪はれた戯曲』と同じ1919年。ただし、連載完結が8月で、単行本刊行が10月なので、まあ、ちょっとだけ谷崎に負けています。

それはともかく、『三十棺桶島』は、謎の残酷な挿絵をあしらった手書きの祈祷書のようなものが出てきて、そこに書かれた予言詩に基づいて荒唐無稽な殺人が連続するという趣向になっています。

ただし、そうした反常識的な趣向の底

に潜んでいるのは、第1次世界大戦によるモラルの崩壊です。その意味で、第1次大戦後にフランスに現れた悪魔的な小説群、コクトーの『恐るべき子供たち』、ラディゲの『肉体の悪魔』、パタイユの『目玉の話』、あるいは、ダダや超現実主義運動といったアモラルな常識破壊の試みとも根を一にしているのです。

その一方で、舞台をブルターニュの孤島に据えて、フレイザーの『金枝篇』に直結するケルト文化を事件の背景に置き、カエサル『ガリア戦記』やシャトーブリアンの叙事詩『殉教者』に言及したり、プリニウスの『博物誌』の記述を交えたり、また、狂王ルートヴィヒ2世の自殺に触れたり、学術的なところも随所に見せています。そうした点で、ヨーロッパ文化史の裏面に関心をもつ読者にとっても、大いに興味を刺激する小説だといえるでしょう。(仏文学者)



イラスト: たけなみゆうこ

句集 嗽

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-814-3

ISBN 978-4-86110-814-3

ことはへの気つき―カフカの短篇を読む

松原好次 (元電気通信大学教授)

ISBN 978-4-86110-754-2

ISBN 978-4-86110-754-2

対談集 春風問学

春風社編集部編

ISBN 978-4-86110-768-9

ISBN 978-4-86110-768-9

文の風景 ときどきマンガ、音楽、映画

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-749-8

ISBN 978-4-86110-749-8

学ゆりかご―母と娘のディスタンス

春風社編集部編

ISBN 978-4-86110-743-6

ISBN 978-4-86110-743-6

鎌倉三猫物語

ソーントン 不破直子 (日本女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-430-5

ISBN 978-4-86110-430-5

クリスマス・キャロル チャールズ・ディケンズ 著 / 井原慶一郎 (鹿児島大学教授) 訳

ISBN 978-4-86110-474-9 三刷

ISBN 978-4-86110-474-9 三刷

いないも同然だった男

著 / 桑原隆行 (福岡大学教授) 訳

ISBN 978-4-86110-458-9 二刷

ISBN 978-4-86110-458-9 二刷

鱒 hadahada

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-610-1

ISBN 978-4-86110-610-1

カメレオン

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-473-2

ISBN 978-4-86110-473-2

マハーウマキまたは巫山の夢

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-342-1

ISBN 978-4-86110-342-1

父のふるさと―秋田往来

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-243-1

ISBN 978-4-86110-243-1

出版は風まかせ―おとぼけ社長奮闘記

三浦衛 (春風社代表)

ISBN 978-4-86110-193-9

ISBN 978-4-86110-193-9

谷川健一全歌集

谷川健一 (民俗学者・歌人)

ISBN 978-4-86110-104-5

ISBN 978-4-86110-104-5

突撃! よこはま村の100人―自転車記者が行く

佐藤将人 (元神奈川新聞記者)

ISBN 978-4-86110-316-2

ISBN 978-4-86110-316-2

瀬戸内、鳥瞰の旅―風景の奥を読む

伊藤松雄 (四国学院大学教授)

ISBN 978-4-86110-360-5

ISBN 978-4-86110-360-5

演劇・音楽・芸術

江戸時代の唐画―南蘋派 南画から南北台派
 伊藤紫織(尚美学園大学教授) ISBN 978-4-86110-857-0 ¥6500

レオナルド・ダ・ヴィンチの源泉―様式・文学・人物表現 田辺清(大東文化大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-773-3 ¥4000

「新ドイツ派」の成立―リストと彼の仲間たち
 による進歩的音楽集団 上山典子(静岡文化芸術大学准教授) ISBN 978-4-86110-843-3 ¥4500

近代市民社会の信仰と音楽―オラトリオは「聖」か俗か 瀬尾文子(国立音楽大学准教授) ISBN 978-4-86110-838-9 ¥5000

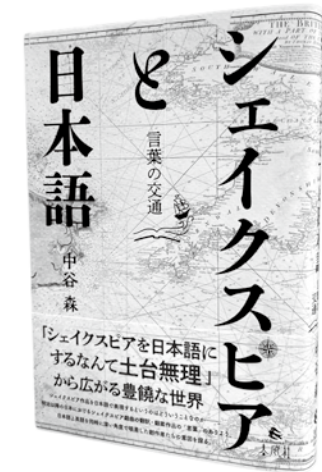
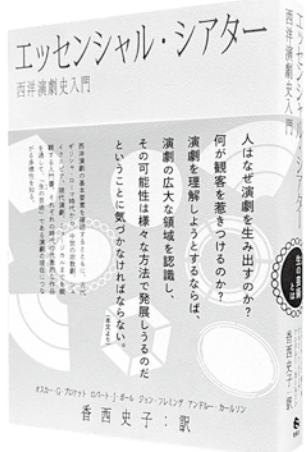
演劇の公共圏 クリストファー・バルミ著
 藤岡阿由未(福山女学館大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-806-8 ¥3273

戦後日本の「コミュニティ・シアター」特別でない「私たち」の演劇 須川渡(福岡女学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-764-1 ¥4500

父のアルバム 伊藤巖・田中典子(清泉女子大学教授) ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

クワシル解体 小関与四郎(写真家) ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000

邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録 松菱多津男 ISBN 978-4-86110-276-9 ¥4600



シェイクスピアと日本語 言葉の交通

中谷森(津田塾大学専任講師) 明治以降の日本におけるシェイクスピア戯曲の翻訳・翻案作品のなかの「言葉」の在りように着目し、日本語と英語を同時に深い角度で眼差した創作者たちの意図、またシェイクスピア作品を取り巻く文化交流の諸相を論じる。
 四六判上製・二七頁 定価(3500円+税) ISBN 978-4-86110-941-6 ¥2500

「一九四〇年代素人演劇史論―表現活動の教育的意義 小川史(横浜創英大学教授) ISBN 978-4-86110-717-7 ¥5000

イタリア・宝塚 2・5次元―多彩な演劇世界をめぐる 鈴木国男(共立女子大学教授) ISBN 978-4-86110-737-5 ¥2900

江戸の黙阿弥―善人を描く 理忠美沙(お茶の水女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-706-1 ¥4500

転生する物語―アダンテーションの愉しみ 渡辺諒(元早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-685-9 ¥2500

見る・見せる―中国四川・福建の表演にみる「演じ」こと・人・空間 細井尚子(立教大学教授) ISBN 978-4-86110-671-2 ¥4500

都市科学事典 横浜国立大学都市科学部編 ISBN 978-4-86110-734-4 ¥25000

「コミュニティ事典 伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹編 ISBN 978-4-86110-538-8 ¥25000

国際安全保障―基本的な問いにどう答えるか 今野茂充(東洋英和女学院大学教授)編 国際安全保障にかかわる根本的な問いと向き合い、論理的に説明するためのポイントと整理。戦争と平和について考えを深める際の視点を提示する。 ISBN 978-4-86110-958-4 ¥2500

エッセンシャル・シアター 西洋演劇史入門

ロバート・J・ボール(ソッカー・ネットワード大学)、アンドルー・カールソン(テキサス大学オースティン校)著 香西史子(昭和音楽大学教授)訳 西洋演劇の基本要素を確認し、古代ギリシャ・ローマ時代から、中世の宗教劇、シェイクスピア、現代演劇、ミュージカルまでを概観。それぞれの時代の代表的な作品を通して、「生の芸術」である演劇の現在につながる多様性を知る。
 四六判並製・四〇頁 定価(2800円+税) ISBN 978-4-86110-959-1

西洋演劇史入門

江戸の黙阿弥―善人を描く 理忠美沙(お茶の水女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-706-1 ¥4500

しりあがり寿

見渡す限りの山々、それが皆自分の国だった。
 「長かった。策をめぐらし戦を重ね、権力を覆しこの地を奪い取った」
 将宗はかたわらに控えていた片腕ともいえる知安に聞いた。

大河

29 将宗の乱

「いやまあ『変』といつてもう少し重要な政治的な権力争いからんでいたほうが…」
 「そ、そうか。では『役』だな。文永、弘安の役とか前九年、後三年の役とか。わしの場合も五年くらいかかってるし」
 「いやー、あれは外敵というかモンゴルや蝦夷相手の戦いですから。殿の場合は『役』とは申しません」
 「ではわしの歴史をゆるがせたこの偉業はなんと呼ばれるのじゃ？」
 「歴史をゆるがせましたか？」
 「ちよつとはゆるがしたであらう」
 「ちよつとですか」
 「ちよつとだけ」
 「では、『将門のピクツ』ではいかがでしょう？」
 「……」

「のう、後の世は」の戦をなんと呼ぶであらうか？」
 「と、仰せられますと？」
 「ほら、将門の乱とか応仁の乱とかあるじゃん、なんとかの乱ー やっぱ将宗の乱かな？」
 「乱といつにはちよつと地味というか乱でほどじやないといつか」
 「では『変』か？ 将宗の変！ 将宗は変、なんて言われたりして、ガハハハッ」



広々とした領地に霧がたちこめてきたようだった。

石巻片影 三浦衛(春風社代表)著/橋本照嵩(写真家)写 真 ISBN 978-4-86110-530-2 ¥2500

石巻2011.3.27 ~ 2014.5.29 橋本照嵩(写真家) ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500

浅草2011-2016 一六区ロードウェイ 日本人の肖像 初沢克利(写真家) ISBN 978-4-86110-547-0 ¥7000

吉住小三(長順吉住会) ISBN 978-4-86110-562-3 ¥1852

スヘイン語源辞典 太田強正(神奈川大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-332-2 ¥5200

異文化コミュニケーション事典 石井敏・久米昭元他編 ISBN 978-4-86110-333-9 ¥7600

ニュージャーナル百科事典 ニュージャーナル学会編 ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333

タニテ神曲原典読解語源辞典(地獄)〈煉獄〉〈天国〉 福島治 ISBN 4-921146-77-2 / 4-921146-78-0 / 4-921146-79-9 各巻¥46000

メディアとしてのコミュニケーション 町田小織(東洋英和女学院大学専任講師)編 ISBN 978-4-86110-739-9 ¥2500

国際協力の行方―経済・開発・オルタナティブ 吉川健治(東洋英和女学院大学教授)編 ISBN 978-4-86110-646-0 ¥2500

パワハラ・トラウマに対する短期心理療法 岡本浩一・長谷川明弘編 ISBN 978-4-86110-639-2 ¥2500

世界のメディア―グローバル時代における多様性 小寺敦之(東洋英和女学院大学教授)編 ISBN 978-4-86110-591-3 ¥2500

EU統合を読む―現代ヨーロッパを理解するための基礎 小久保康之編 ISBN 978-4-86110-483-1 ¥2500

ネット空間を変えるモバイル社会 東洋英和女学院大学メディア・コミュニケーション研究所編 ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500

グローバル化とリスク社会 岡本浩一・パトリシア・スイッパル編 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

東洋英和女学院大学 社会科学研究叢書



国際安全保障―基本的な問いにどう答えるか 今野茂充(東洋英和女学院大学教授)編 国際安全保障にかかわる根本的な問いと向き合い、論理的に説明するためのポイントと整理。戦争と平和について考えを深める際の視点を提示する。 ISBN 978-4-86110-958-4 ¥2500

自分を整えるフリーサイコロセラピー―瞑想法、NLP、臨床動作法、バイオフィールドバック 岡本浩一(東洋英和女学院大学教授)・小林能成(東洋英和女学院大学教授)・長谷川明弘(東洋英和女学院大学教授)編 ストレスのセルフ・ケアに適用できる、短期心理療法の様々な技法を紹介。 ISBN 978-4-86110-860-0 ¥2500



教育による包摂／排除に抗する児童福祉の理念

児童自立支援施設の就学義務化から
高田俊輔 (上越教育大学専任講師)
非行少年を対象とする人型型の児童福祉施設であり、少年院と児童養護施設の折衷的な役割を担ってきた、児童自立支援施設——人所児童に向きあう施設職員や学校教員たち実践者の言説や試みを解き明かし、その変遷や現状に示される、児童福祉と学校教育のそれぞれの理論と実践を考察する。
四六判上製・三〇〇頁 定価(4000円+税) ISBN 978-4-86110-903-4



正統的周辺参加としての社会科教育の展開

アンラーニングによる社会参加をもとに
田本正一 (山口大学准教授)
正統的周辺参加の理論やアンラーニングの概念という視座をもとに、公教育における授業・カリキュラム・学習評価で、学校・地域・国家・地球といった社会的な共同体における状況や関係を再考。多様なテーマを通し、学びを活かすための方法を提言する。
A5判上製・二七二頁 定価(4000円+税) ISBN 978-4-86110-946-1



アンリ・ワロンの精神発生学と人間発達研究

その思想と理論の現代的意義を探って
亀谷和史 (日本福祉大学教授)
20世紀初頭から半ばにかけて心理学研究に携わったアンリ・ワロンの人間発達思想を、「精神発生学」の構想という観点からひもとく。現代の発達心理学の領域に収まらないその哲学的・発達思想的な理論の到達点や意義を検討し、「精神」の発生・発達過程の本質や心身の相互関係を探る。
四六判上製・三〇四頁 定価(4200円+税) ISBN 978-4-86110-933-1

一般科学教授学概要—教員養成・授業・研究のための基礎と方向づけ デイ・トリッピ・ペンナー著／牛田伸一(創価大学教授)訳
教育／教授することと陶冶／学習することによる知の提示と構築のありようを、教授学の理論・方法・実践として検討する。
ISBN 978-4-86110-820-4 ¥5000

東日本大震災と子どものミライ 橋本恵司(教育者)
ISBN 978-4-86110-875-4 ¥2500
コトのデザイン—発想力を取り戻す 谷内眞之助(Safeology研究所・山川修(福井県立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-855-6 ¥2500
ティーフ・アクティブラーニングのはじめ方—ながりのなかに主体性を取り戻す 山川修・早川公(大阪国際大学准教授) ISBN 978-4-86110-854-9 ¥2200

日本語教師の省察的実践—語りの現象学的分析とその記述を読む経験 香月裕介(神戸学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-760-3 ¥4500
学校と生活を接続する—ドイツの改革教育的な授業の理論と実践 田中怜(筑波大学助教) ISBN 978-4-86110-766-5 ¥4200
言語教師教育論 B・クマラヴァデーユル著／南浦涼介・瀬尾匡輝・田嶋美砂子訳 ISBN 978-4-86110-759-7 二刷 ¥4000
自律を目指す教育とは何か—自然主義的な教育哲学の試み 宮川幸奈(熊本学園大学准教授) ISBN 978-4-86110-767-2 ¥4000
レヴィナスと教育学—他者をめぐる教育学の語りを問い直す 安喰勇平(神戸市外国語大学准教授) ISBN 978-4-86110-765-8 ¥4000

外国につながる児童生徒の教育と社会的包摂 柿原豪(聖マリアンナ中等高等専修学校教諭) ISBN 978-4-86110-751-1 ¥3600
学問としてのダンスの歴史の変容—ウィンスロウ・シンク大学マティソン校のダンスの100年 木場裕紀 ISBN 978-4-86110-757-3 ¥4000
教室における政治的中立性 論争問題を扱ったために タイアナ・E・ヘス著 渡部竜也・岩崎圭祐・井上昌善監訳 ISBN 978-4-86110-718-4 三刷 ¥4500
19世紀フランスにおける女子修道院寄宿学校 山内由貴(京都橋科大学専任講師) ISBN 978-4-86110-735-1 ¥3600
「共生社会」と教育—南アフリカ共和国の学校における取り組みが示す可能性 坂口真康(兵庫教育大学専任講師) ISBN 978-4-86110-726-9 ¥4500

空海に学ぶキャリアデザイン—空海に学ぶキャリアデザイン 益田勉(文教大学教授) ISBN 978-4-86110-705-4 ¥3500
移動する女性たち—海外の日本語教育と国際ホランディアの周辺 平畑奈美(東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-638-5 ¥3241
共同体による自己形成—教育と政治のフランス・マティスムへ 生澤繁樹(名古屋大学准教授) ISBN 978-4-86110-641-5 ¥5500
主権者教育論—学校カリキュラム・学力・教師 渡部竜也(東京学芸大学准教授) ISBN 978-4-86110-648-4 二刷 ¥4500

「エンテンス」に基づく教育の闘い—教育学における規範と事実をめぐって 杉田浩崇・熊井将太編 ISBN 978-4-86110-658-3 ¥3700
The Developmental Process of Japanese Elementary School Teachers Associated with Teaching English while Engaged in Lesson Study 上原明子 ISBN 978-4-86110-634-7 ¥5900
教育と他者—非対称性の倫理に向けて 橋本憲幸(山梨県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-674-9 ¥4000
大英英語教育の質的転換—「学ぶ」場から「使う」場へ 佐藤響子・Carl McGary・加藤千博編 ISBN 978-4-86110-618-7 ¥2300
正しい学び／学力—質の高い知をめぐる学校再建 フレッド・M・ニューマン著／渡部竜也・堀田諭訳 ISBN 978-4-86110-525-8 ¥6200
世界初 市民性教育の国家規模カリキュラム 渡部竜也編訳 ISBN 978-4-86110-490-9 ¥4722
「モン・クッド」のための歴史教育—社会文化的アプローチ レヴュー・ストーン著／渡部竜也他訳 ISBN 978-4-86110-445-9 二刷 ¥6000
教育方法改革の理論 助川晃洋(国士館大学教授) ISBN 978-4-86110-578-4 ¥2000

阿部公彦

英文学にデコピン

19回転する OED

かつての英文科では、大学院に進学すると『オックスフォード英語大辞典』(The Oxford English Dictionary=OED)をまとめ買いする人がいたものである。もちろん辞書なので数冊だけ買って意味はないのだが、20冊+補遺3冊をぜんぶ購入するのは大仕事で、「まとめ買い」と呼ばれた人は「OEDを買ってしまった」と会う人ごとに言っていた。まるで家でも建てたかのように。

値段もそれなりのものだったが、紙版OEDの難題は、何と言っても場所である。各巻も巨大サイズで、重いし、置く場所に困る。物置やガレージに置いたのでは意味がない買った人はどうしていたのだろう。

英文研究室のOEDは、辞書室のテーブル上に鎮座していた。木製の専用ケースは棚が四方に向いており、回転式の台座をまわしながら背表紙のアルファベットを確認して必要な巻を手にとるという仕掛けである。OEDの回転台を困らせた必要巻に手を伸ばしながら、若き青白き英文科学徒たちが勉学に励んでいた様子を今でも思い出す。これぞ辞書室。これぞ英文科。

各巻はAの巻、Bの巻などときれいに分かれているわけではなく、[Cham-Creeky]というような実に中途半端で、しかし、それだけにアカデミックな香りが漂う区分けになっていた。そもそも辞書だし、「[Follow-Haswed]の巻が好き！」などということはあるはずだが、中には英文学精神が高じてそうした不健康な執着にとらわれた人もいたかもしれない。

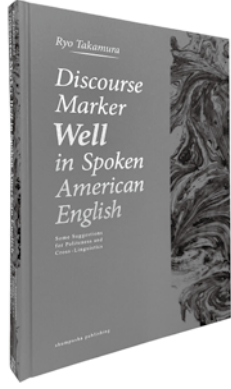
シェイクスピアの戯曲など、比較的時代が古いものを読みながらOEDを引くと、ちょうど自分が調べたところが用例に出ていることも多い。授業では「この単語の意味はOEDで言うところの2番で……」「いやいや3番のaでしよう」などとOED合戦が行われることがあり、そんな中からOED大将とか、OED元帥といった呼び名のふさわしい強者が頭角をあらわした。皆さん今では立派な学者になった。現在のオンライン版は圧倒的に便利で、クロスレファレンスも簡単だし、腱鞘炎になる心配もないが、中華円卓を困らせた辞書引き合戦の味わいは今でも忘れることができない。(英文学者)

言語・心理



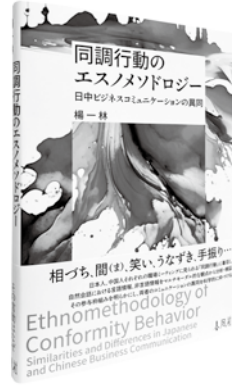
相互行為としての英語学習
 インタラクショナル
 教室談話への現象学的アプローチの試み
 泉谷律子 (武庫川女子大学ほか講師)

公立中学校の実際の英語授業における教室内での談話分析をもとに、英語主導のインタラクショナルをとおして学習者がどのように「行為としての」として「を」を経験しているのかを現象学の視角から議論。英語教育、ひいては言語教育の本質へと迫る。
 A5判上製・一三三頁 定価(5,000円+税)
 ISBN 978-4-86110-934-8



Discourse Marker Well in Spoken American English
 Some Suggestions for Politeness and Cross-Linguistics
 高村遼 (立正大学特任講師)

アメリカ英語における談話標識「Well」を多面的に探究。サンタバーバラコーパスから用例を探り、対人機能・談話構成機能を立証する。
 A5判上製・一九八頁 定価(6,000円+税)
 ISBN 978-4-86110-926-3



同調行動のエスノメソドロジー
 日中ビジネスコミュニケーションの異同
 楊一林 (津田駒工業株式会社常勤講師)

日中それぞれのビジネスミーティングに見られる「同調行動」を対象とし、エスノメソドロジー研究の「参与」「関与」「均衡」の概念を用いて、ワープレイスにおける自然談話分析をマルチモーダル的手法で分析・検証。
 A5判上製・一三三頁 定価(5,000円+税)
 ISBN 978-4-86110-929-4

国際日本の探究―夏目漱石・翻訳・日本語教育
 徳永光展 (福岡工業大学教養力育成センター教授)

母語・日本語、地域文化・日本文化を往還し、新たな知の体系の創造を試みる挑戦的論集。夏目漱石「心」「坑夫」の英・独訳者との対談も収録。
 ISBN 978-4-86110-886-9 ¥4,000

自己形成への道程―精神科看護師による実践記述の解読から 千々岩友子 (福岡国際医療福祉大学教授) ISBN 978-4-86110-873-0 ¥4,500

認知・言語理論から日本語教育実践へ―類推タスクアイデア29 橋本ゆかり (横浜国立大学) ISBN 978-4-86110-874-7 二刷 ¥1,800

言語景観から考える日本の言語環境―方言・多言語・日本語教育 ダニエル・ロング・斎藤敬太 ISBN 978-4-86110-793-1 ◆ ¥4,500

日本語学習者の読解ストラテジー―要点関係図の効果を探る 田川麻央 (明海大学専任講師) ISBN 978-4-86110-707-8 ¥4,400

おしゃべりなボライトネス―会話の中の共話・話題交換・笑い・メタファー 笹川洋子 (神戸親和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-642-2 ¥3,500

神奈川県方言アクセント―小田原から横須賀まで 坂本薫 (國學院大学兼任講師) ISBN 978-4-86110-670-5 ¥3,700

Japanese English: A Descriptive Grammar Kolarawe Waziri Ojaborogwa (郵政医科大学教授) ISBN 978-4-86110-680-4 ¥6,900

小学校英語への専門的アプローチ―ことばの世界を拓く 綾部保志 (立教池袋中学校・高等学校) 教諭 編 ISBN 978-4-86110-647-7 ¥2,000

英語と開発―グローバル化時代の言語政策と教育 F・サージエント、E・J・アーリング 編／松原好次監訳 ISBN 978-4-86110-471-8 ¥3,500

英語学―現代英語をより深く知るために 菊池清明 (元立教大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-513-5 ¥1,400

ベトナム語母語話者のための日本語教育 松田真希子 (東京都立大学教授) ISBN 978-4-86110-491-6 ◆ ¥3,600

第三言語学習と個性性 津田塾大学言語文化研究所言語学習の個性性研究グループ 編 ISBN 978-4-86110-065-9 ¥1,600

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis 鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-114-4 ¥7,619

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II 鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-300-1 ¥6,667

シモンと「国語」辞典の誕生―十八世紀巨人の名言・金言 早川勇 (愛知大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-399-5 ¥2,500

ベルベル語とティフィナク文字の基礎―タリーフット語 (Tafite) 入門 石原忠佳 ISBN 978-4-86110-394-0 ◆ ¥4,286

啓蒙思想下のシモン辞書―知の集成を目指して 早川勇 (愛知大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-380-3 ¥5,000

はじめての論文―語用論的な視点で調査・研究する 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-349-0 四刷 ¥1,800

プラグマティクス・ワークシユップ―身のまわりの言葉を語用論的に見る 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-073-9 五刷 ¥1,800

環境心理学―環境デザインへのパースペクティブ 榎究 (実践女子大学教授) ISBN 4-86110-010-0 一版二刷 ◆ ¥2,286

ブラジル人のためのニッポンの裏技―暮らしに役立つ日本語便利帳 松田真希子 著／ティエゴ・サレス・ピント 訳 ISBN 4-86110-129-8 ◆ ¥1,500

横濱市立大学新叢書
 外国人住民が団地に住み続ける意味―神奈川県X団地のビフォー／アフターコロナ (10頁に本紹介)

日本の東アジア投資1000年史 金子文夫 (横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-804-4 ¥3,000

アウシュヴィツへの道―ホロコーストはなぜいつからどこでどのように 永岑三千輝 (横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-805-1 ¥2,500

Y専の歴史―横浜市立大学の源流 齊藤毅憲 (横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-716-0 ¥2,500

イエス運動・マルコ・哲学 三上真司 (横浜市立大学教授) ISBN 978-4-86110-679-8 ¥3,535

教育公務員特例法制定過程の研究―占領下における教員身分保障制度改革構想 高橋寛人 (立教大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-650-7 ¥3,000

読んで愉しむイギリス文学史入門 白井義昭 (横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-372-8 六刷 ¥1,500

立教大学人文叢書
 1 人文資料学の現在―浦野聡他 編著 ISBN 4-86110-063-1 ¥2,200

2 文学の基礎レクシオン 後藤和彦 編著 ISBN 4-86110-087-9 ¥2,200

3 肖像と個性 藤巻明他 編著 ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2,200

4 人文資料学の現在II 菅谷憲典 編 ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2,200

5 書簡を読む 桑瀬章一郎 編 ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2,200

古代文学史料の中心性と周縁性 立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津行徳・浦野聡 編著 ISBN 4-86110-067-4 ¥3,500

子どもの「内面」とは何か―言語ゲームから見た他者理解とコミュニケーション 杉田浩崇 ISBN 978-4-86110-556-2 ◆ ¥3,700

居場所―生の回復と充溢のトポス 萩原建次郎 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-566-1 ◆ ¥2,315

留学生の見た漢字の世界―漢字学習への創造的アプローチ 林さと子・関麻由美・齋藤伸子 編著 ISBN 978-4-86110-568-5 ¥1,852

日本統治下台湾の教育認識―書房・公学校を中心に 呉宏明 (京都精華大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-505-0 一刷 ¥3,500

アメリカ教育福祉社会史序説―ロビンソン・テイチャーとその時代 倉石一郎 (京都大学) 教授 ISBN 978-4-86110-416-9 二刷 ¥3,000

物語が始まるとき―共創教育の現場から 青木幸子 (昭和女子大学特任准教授) ISBN 978-4-86110-415-2 ¥1,800

労働・山崎高哉共編
 日中教育学対話I ISBN 978-4-86110-159-5 ¥3,200
 日中教育学対話II ISBN 978-4-86110-220-2 ¥2,800
 日中教育学対話III ISBN 978-4-86110-248-6 ¥3,200

幼児キャンプ―雪の体験 山梨幼児野外教育研究会 監修 ISBN 4-921146-40-3 ¥1,905

ろ腹立たしい思いにとらわれているのは、長い間、日本の民主主義を根底からささえてきた(と思っていた)社会保障制度の改悪が進み、結果的にコ・プレゼンスの根幹がいきよに掘り崩されているようにみえることである。病院の窓口で諸種の手続きをおこなっていて、そして実際に医療費を支払ってこのことをひしひしと感じる、という。

けれど、そうした状況にありながら、Sさんは日々のウォーキングを欠かさない。誰からも勧められたわけではないが、いまや身体(からだ)がウォーキングに馴化してしまっている、という。Sさんは、このウォーキングの途次で多くの人びとと知り合うようになった。はじめは挨拶程度のものであったが、徐々に日常のちょっとしたことを話し合うようになった。けれど、けっして深入りはしないことにしている。

そんなある日、Sさんはウォーキング仲間から難病を抱えている人たちのメディアとなっているあるNPOのことを教わった。NPOなんて欺瞞だらけで胡散臭いと思っていたSさんは、それでも恐る恐るそのNPOの集まりに出てみた。驚いたことに、そこに参加している人たちはきわめてフランクに話し合っており、お互いに気脈が通じているようにみえた。Sさんはいきよに視界が開けた、という。わたしは、Sさんの話を聞きながら、こんにち、「上からの〈共〉へのまなざし」が強まるなかで、何気ない日常生活の真っ只中から立ちあらわれる、身の丈のコ・プレゼンスのありようについて思いを馳せている。(社会学者)



10 / 身の丈のコ・プレゼンスとは
 Sさんは、いま、厚生労働省認定の厄介な難病に罹り、居住地近くの大病院に通院している。わたしは、Sさんとはちょっとしたはずみでその大病院の待合室で知り合った。Sさんが言うには、難病自体は完治の見込みがなく、せいぜい寛解を維持するしかなく、日々、鬱屈した状態にある。とりわけ診療を受ける際にはナーバスになっており、ちょっとした言葉や何気ないしぐさで大いに傷つくことがあるし、逆に励まされることがある、という。そのSさんがこのとこ

社会・歴史

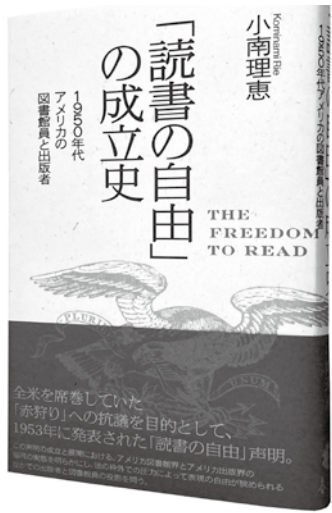
「読書の自由」の成立史

1950年代アメリカの図書館員と出版者

小南理恵 (鶴見大学専任講師)

一九五三年に、全米を席巻していた「赤狩り」への抗議を目的として発表された「読書の自由」声明。声明の成立と展開における、アメリカ図書館界とアメリカ出版界の協同の実態を明らかにし、法の枠外での圧力によって表現の自由が狭められるなかでの出版者の役割を問う。

四六判上製・二五〇頁 定価(3300円+税)
ISBN 978-4-86110-951-5



横浜市立大学新叢書15

外国人住民が

団地に住み続ける意味

神奈川県文団地のビフォー／アフター コロナ

坪谷美欧子 (横浜市立大学教授)

外国人住民へのアンケート調査および、外国人住民、自治会、支援団体へのインタビュー調査にもとづき、来日の経緯、日本での生活実態、地域社会への参画生活、母国とのつながり、子どもの教育、コロナ禍での生活などの項目に分け、詳細な分析を行う。

A5判並製・三三八頁 定価(3000円+税)
ISBN 978-4-86110-962-1



日中戦時下の

中国語雑誌『女声』

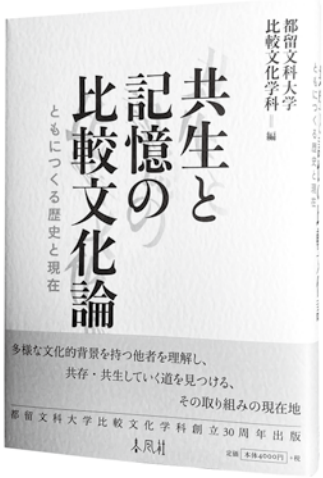
フェミニスト田村俊子を中心に

山崎眞紀子 (日本大学教授、江上幸子 (フェリス学院大学名誉教授)、石川照子 (大妻女子大学教授)、渡辺千尋 (東洋大学専任講師)、

井敦子 (立命館大学委員協力研究員)、中山文 (神戸学院大学教授)、姚毅 (大阪公立大学委員研究員)、鈴木将久 (東京大学大学院教授)、須藤瑞代 (京都産業大学准教授)

日本人編集長田村俊子の姿勢を浮かび上がらせることを主眼に、読者による悩み相談、文芸、映画、演劇、児童、国際報道などの記事を分析。田村と中国女性編集員たちが価値観の相違を見せながらも、女性の人生、境遇、将来について考え、発表を続けた諸相を考察する。

A5判上製・四〇八頁 定価(4500円+税)
ISBN 978-4-86110-916-4



共生と記憶の比較文化論

ともにつくる歴史と現在

都留文科大学比較文化学教科編

多様な文化的背景を持つ他者を理解し、共存・共生していく道を見つける。その取り組みの現在地。都留文科大学比較文化学教科編創立三〇周年出版。「ステークホルダー資本主義」や「温泉タトゥーお断り問題」など幅広く論じ、問う。

A5判上製・三三八頁 定価(4000円+税)
ISBN 978-4-86110-952-2

ポストモダンの処方箋

33 再審される「自由」

白井聡

「世界を動かす最も強力な要素は思想だ」と述べたのは、ジョン・メイナード・ケインズだった。これは別に、しばしば無力感に苛まれている哲学者や思想家を励ますための言葉ではない。ケインズの述べたことはありのまま。確かに、長期的に見れば、近代の歴史は、「近代的価値観・思考」の影響力が一步一步確実に強くなる過程であった。

その「近代的価値観・思考」の核心に存するのは、「自由」である。「自由」を正面切って定義するのはいつも容易でないのだが、現代の社会学者が言うように「自明性の喪失」としてとらえたとわかりやすくなる。近代以前の伝統社会においては、およそあらゆる事柄は「自明なもの」として与えられていた。そこでは、先祖代々の暮らしと生き方を守る、反復することが正しいことだと見なされていた。対照的に、近代社会では変化が常態となる。あらゆる社会制度、価値、規範等々は自明性を失い、可変的なものとされ、その存在根拠を問われることになる。存在根拠の中核をなすものが「合理性」であると喝破したのは、マックス・ウェーバーであった。かくして、近代とは、あらゆるものが「それは合理的なのか？」と問われ、合理的なものへと改変する自由を人間が発揮することのできる時代として展開してきた。

この傾向の強さは、近年指摘されてきた「保守化」などとは比べ物にならない。

最も端的な事例として、セクシュアリティ／ジェンダーの領域を見てみればよい。性別役割分業の自明性は疾うに消失している。わずか80年ほど前、結婚が男女間でなく、同性間で行なわれようようになるなど、想像できた者がいたであろうか。いわゆる「リベラルな価値観」は、保守化などものともせず、勝利を拡大し続けている。このように「自由」化された世界では、人々の生き方はすべて本人の選択次第となる。規範性を持つ典型的な生き方は存在しなくなる。だが、昨今出現してきたのは、上に見た「自由」に対する本格的な懐疑と、「自由」による疲労感だ。人生における万事を選択しなければならず、その選択には合理的に説明可能な根拠がなければならない(例えば、結婚するならばその根拠が必要となる)状況は人を疲れさせる。そして、「自由」が文明生活の持続と両立しうるのが、相当に不明瞭になってきた。そのわかりやすくまた端的な現象が人口減少と都市への人口集中である。出生率の劇的低下と人口集中により、一部の都市圏にわずかとなった人口が極度に集中する一方、地方部では人影が消えて原野に野生動物が跋扈する、という国土の未来像が現実的になってきている。すでに顕在化し始めている労働力の不足は、この未来像の前触れだ。文明の廃墟のなかで「自由」は霧消するのか、それとも持続可能性を包含した新しい「自由」が現れるのか、現代の思想的課題は鮮明になりつつある。

(政治学者)

〈文事〉をめぐる日朝関係史―近世後期の通信使外交と対馬藩 松本智也 (四国学院大学助教)

日朝の「善隣友好」を支えた通信使外交はなぜ挫折したのか。学術・文化交流としての「文事」と対馬の「藩屏」認識言説から考究する。 ISBN 978-4-86110-880-8 ¥6500

ユダヤ人として生きる―幼児期にホロコーストを経験したアンガ教授の回想録 イズラエル・アンガ、キヤロライン・ギヤモン 著／仁木久恵訳 隠れ家での過酷な生活を経、差別や偏見と向き合いながら歩んできた化学者の人生を、入念な調査資料、貴重な写真を交えながら綴る。 ISBN 978-4-86110-883-9 ¥2700

ローカル・フードシステムと都市農地の保全―庭先直売、移動販売、産消連携の立地と生産緑地 佐藤忠英 (神奈川県農業技術センター主任研究員) 食料品アクセス確保に資するローカル・フードシステムの観点から、市街地と農地の混在合理性を提示し、都市農地保全の意義に迫る。 ISBN 978-4-86110-871-6 ¥3700

新聞4コマ漫画と内閣総理大臣―全国3大紙に見る小泉純一郎から野田佳彦までの首相描写 水野剛也 (明治大学教授) 朝日、毎日、読売3紙の4コマ漫画から現職の首相を描いた全作品を精査。その量的・質的分析を通して、庶民の目に映る首相と政治のすがたを探る。 ISBN 978-4-86110-892-1 ¥5400

ミッドフォードとギネス一族の御曹司 ジョナサン・ギネス、キヤサリン・ギネス 著／大西俊男 訳 ISBN 978-4-86110-818-1 ¥3300

戦間期チエコのモード記者シレナ・イエセンスカーの仕事―個が衣装をつくる 半田幸子 (東北大学特任助教) ISBN 978-4-86110-865-5 ¥4500

原発災害と生活再建の社会学―なぜ何も作らない農地を手入れするのか 庄司貴俊 (東北学院大学非常勤講師) ISBN 978-4-86110-861-7 ¥3000

デジタル化時代のジェンダー平等―メルケルが拓いた未来の社会デザイン 佐野敦子 (立教大学大学院講師) ISBN 978-4-86110-859-4 ¥3600

ケヘットのフェミニズム―若者たちに語り伝える物語 ミシユリンヌ・デュモン 著／矢内琴江 (長崎大学准教授) 訳 ISBN 978-4-86110-834-1 ¥2800

住宅をめぐる〈欲望〉の都市論―民間都市開発の台頭と住環境の変容 吉江俊 (早稲田大学講師) ISBN 978-4-86110-828-0 ¥3500

あいまい化する企業者たち―韓国セクシユアル・マイノリティ運動から考える「フェミニズム」の未来 柳姫希 (武蔵野大学助教) ISBN 978-4-86110-864-8 ¥3500

戦前日本における精神衛生相談の成立―理念形成から活動の展開まで 末田邦子 (愛知淑徳大学准教授) ISBN 978-4-86110-862-4 ¥5000

「伝統」が制度化するとき―日本占領期ジャワにおける隣組 小林和夫 (創価大学教授) ISBN 978-4-86110-824-2 ¥5000

地域発見と地理認識―観光旅行とホタリノケの楽しま方 西脇保幸 (横浜国立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-841-9 ¥3100

憲法上のポレモリズム宣言 リチャード・D・パーカー 著／池端忠司 (神奈川県大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-815-0 ¥3500

フオビアがいっぱい―多文化共生社会を生きるために 高山陽子 (亜細亜大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-831-0 ¥2700

「よりどころ」の形成史―アルゼンチンの沖縄移民社会と在沖縄県人連合会の設立 月野楓子 (沖縄国際大学准教授) ISBN 978-4-86110-830-3 ¥4300

石敢當の比較研究―中国・沖縄・鹿児島・奄美 蔣明超 (泰山学院泰山山研究院) ISBN 978-4-86110-753-5 ¥4200

現代日本農業論考 小川真如 (一般財団法人農政調査委員会専門調査員・東京農工大学ほか講師) ISBN 978-4-86110-788-7 ¥7200

聖ヤコブ崇敬とサンティアゴ巡礼 田辺加恵 (立命館大学教授)・大原志麻 (静岡大学教授)・井上幸孝 (専修大学教授) ISBN 978-4-86110-785-6 ¥4000

自著を語る

松井梓

『海と路地のリズム、女たち
—モザンビーク島の切れては繋がる近所づきあい』



頭のなかではいままも熱いまま完結してなくて、書いているときもずっと分散したまごめいていたアイデアが、出来上がった本を見ると、ひとつの物体として静かにおさまっている。本ってこうなるんだって思いました。

本には著者の自分にできないことがたくさんあります。編集もそうですが、綺麗な紙に文字が乗っていたり、ノンプルのフォントだったり、章のタイトルが各ページの柱として入っていたり、その配置などのバランスも自分でできることではない。自分の手でできない作業があるおかげで、しっかりと自分の思考や作業を諦めて手放すことができるからこそ、ちゃんとひとつの本としておさまるんだと思います。

本書ではモザンビーク島で近所に住む女性たちのゴシップの様子について描きました。フィールドで、「あいつはなっていない」とか自分について色々言われていることを耳にすることがあったんですけど、同時に親しく思ってくれている、その強さも表情や口調から伝わってきます。それは日本にいるときにはなかった感覚で、日本では悪口も愛情表現もオブラートに包まれているかなと感じます。

フィールドワークの途中まで自分は、「相手が本当はどう思っているのか」を求めようとしすぎていたのかもしれない。フィールドワークや人類学の調査だと、対象の方と良い信頼関係を築かないといけなと言われてますが、そういう信頼関係を築いて、本当のことを言ったり聞いたりできるようにならなければと縛られていました。しかし、人づきあいというのはそういうものじゃない。彼女たちのゴシップの受け止め方を学んでいくうちに、「字義通りに受け止めなくていい」「本当のこと」を問わなくてもいいんだ」という気になっていき、それから調査は楽になりました。こうした学びが、日本の職場などの人間関係などで自分が活かしているかはまだわからないですが、島に行ったことで、大学院のときより多少は考えすぎずに「社交」ができるようになったかもしれませんね。

今後ですが、ゴシップの会話の記録をとって分析をしたり、関係が移り変わる、特に近づくときのまにその現場を見ることだったり、本書に書いたひとつひとつの深度を深めていきたいと思っています。ただ島に閉じこもっていてもいいのかと悩んでもいて、3kmの橋をわたった対岸にも徐々に足を運ぼうかな……うーん、どうでしょうか(笑)

(12頁に本の紹介)

AUTHOR

分かちあふ縁守りある尊厳—フランス・カレッジの一九七〇年代における労働者教育—富永貴公(都留文科大学准教授) ISBN 978-4-86110-794-8 ¥4500

女子サッカー選手のエスノグラフィ—不安定な競技実践形態を生きた申真真(北星学園大学専任講師) ISBN 978-4-86110-795-5 ◆ ¥4000

韓国経済史—先史・古代から併合まで 李榮薫著／須川英徳・加藤裕人・大沼巧訳 ISBN 978-4-86110-782-5 ¥7000

都市を眺める—社会地図で可視化した都市社会の構造—浅川達人(早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-791-7 ¥2700

21世紀型スキルとしての情報社会学—VUC Aワールドを生きた人たちのために—天野徹(明星大学教授) ISBN 978-4-86110-781-8 ¥2800

『リスト全集』の出版 諸田實(神奈川大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-787-0 ¥3500

ファッションとテクノロジー—英国ウィクトリア朝ミッドルランズの衣生活の姿—長谷部寿女士(白本女子大学講師) ISBN 978-4-86110-762-7 ¥4500

アートとコミュニケーション—横浜・黄金町の実践から—山野真悟(美術作家)・鈴木伸治(横浜市立大学教授) ISBN 978-4-86110-752-8 ¥3000

老年笑い学—ユーモアで羽ばたけシニア 小向敦子(高千穂大学教授) ISBN 978-4-86110-778-8 ¥2400

講義 政治学入門—デモクラシーと国家を考える—宮原辰夫(文教大学教授) ISBN 978-4-86110-744-3 ¥2200

アジアの海を渡る人々—一六—一七世紀の渡海者—上田信(立教大学教授)・中島榮章(九州大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-729-0 ¥5000

文化的に生きる権利—文化政策研究からみた憲法第二十五条の可能性—中村美帆(青山学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-724-5 ◆ ¥4500

現代民俗学—郷土研究から世界常民学へ 佐野賢治(神奈川大学名誉教授) 編著 ISBN 978-4-86110-708-5 ¥13000

制服ガールの総力戦—イギリスの「女の子」の戦時責務—杉村使乃(共立女子大学教授) ISBN 978-4-86110-603-3 ¥2200

社会的システム理論の軌跡—ソシオサイバネティクスとニクラス・ルーマン—赤堀三郎(早稲田大学) ISBN 978-4-86110-720-7 ◆ ¥2600

現場に立つから、おもしろい—世界をつなぐ、ひと・モノ・しくみ—江戸川大学現代社会学科 監修 ISBN 978-4-86110-740-5 ¥1800

ナン・ヨリスムの空間—イスラエルにおける死者の記念と表象—今野泰三(中京大学教授) ISBN 978-4-86110-722-1 ¥3600

カラチル駅—ブラジル最大の刑務所における囚人たちの生態—ドラウジオ・ヴァレーラ著／伊藤秋仁訳 ISBN 978-4-86110-695-8 ¥3600

現代中東における宗教・メディア・ネットワーク—イスラームのゆくえ—千葉悠志・安田慎編 ISBN 978-4-86110-728-3 ¥2800

先祖祭祀と墓制の近代—創られた国民的習俗—間志志保(東北大学准教授) ISBN 978-4-86110-692-7 ◆ ¥3000

中央ヨーロッパ—歴史と文学 桂元嗣(武蔵大学教授) ISBN 978-4-86110-701-6 ¥2800

多文化チームと日本人リーダーの動的思考プロセス—クラウンテッド・セオリーからのアプローチ—石黒武人 ISBN 978-4-86110-687-3 ¥3600

合法性と正当性 デイヴィッド・タイゼンハウス著／池端忠司(神奈川大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-686-6 ¥4100

開発と文化における民衆参加—タンザニアの発展の条件—阪本公美子(宇都宮大学教授) ISBN 978-4-86110-676-7 ¥4500

江戸の名主—馬込勤解由 高山慶子(宇都宮大学准教授) ISBN 978-4-86110-666-8 ¥4100

On the Road to the East Asian Community 奥田孝晴(文教大学教授) 他 編 ISBN 978-4-86110-655-2 ¥6000

反逆者たちのアメリカ文化史—未来への思考—堀真理子(青山学院大学教授) ISBN 978-4-86110-659-0 ¥2700

統計は力なり—エルンスト・エンゲルの希望の学—太田和宏(北海学園大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-656-9 ¥3700

ムガル建築の魅力—皇帝たちが築いた地上の楽園—宮原辰夫(文教大学教授) ISBN 978-4-86110-660-6 ¥3100

基礎的自治体と町内会自治会—「行政協力制度」の歴史・現状・行方—日高昭夫(山梨学院大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-611-8 ◆ ¥4200

食から描くインド—近現代の社会変容とアイデンティティ—井坂理穂(東京大学教授)・山根聡(大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-633-0 三刷 ¥3700

スイスの謎—経済的空間的秩序—加藤幸治(国士舘大学教授) ISBN 978-4-86110-585-2 ● ¥2700

東アジアの秩序を考える—歴史・経済・言語—岩下哲典(東洋大学教授) 他 ISBN 978-4-86110-574-6 ¥3700

都市の遺産とまちづくり—アジア大都市の歴史保全—鈴木伸治(横浜市立大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-560-9 ¥3200

医療制度改革の比較政治 石垣千秋(山梨県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-534-0 ◆ ¥5400

素描—杉原千敏 小谷野裕子(エッセイスト) ISBN 978-4-86110-528-9 二刷 ¥1800

天馬山—北朝鮮からの引揚げ者の語り—浅井亜紀子(桜美林大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-519-7 ¥2200

雛の誕生—雛節供に込められた対の豊穡—皆川美恵子(十文字学園女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-439-8 ¥3800

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナッペイ著／藤野成爾訳 ISBN 978-4-86110-413-8 三刷 ¥1800

グローバリゼーション、市民権、都市—ヘクシスの社会学—岩永真治(明治学院大学教授) ISBN 978-4-86110-140-3 二刷 ¥3333

物権法概説 小泉健(一橋大学法学部長) ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

エスノメトリロジーの可能性 椎野信雄(文教大学教授) ISBN 978-4-86110-109-0 ◆ ¥4666

人類学

信仰と音楽は国境を越えて—オーストリアにおけるアレヴィーの儀礼実践と継承—鈴木麻菜美(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科附属ケトルリアー・スライム研究センター特定研究員) ISBN 978-4-86110-909-6 ¥4500

トルコの宗教的少数派であるアレヴィーのひとびとの、移民によって変遷する生活と信仰実践に迫る。 ISBN 978-4-86110-909-6 ¥4500

すべての指に技法を持つ—手仕事で織りなす現代アルジェリア女性の生活誌—山本沙希(立教大学ポストドクトラル・フェロー) 手工芸に従事する女性たちの実践。稼得機会を生みだすための、賢知と狡知を駆使した日常的な創意工夫によって紡がれる生活世界を、多元的で重層的に描く。 ISBN 978-4-86110-889-1 ¥4300

果樹とはぐくむモラル—ブラジル日系果樹園からの人類学 吉村竜(日本学術振興会特別研究員PD) その地に渡った日系人たちが、人間・作物・生態環境の三者関係のなかで農を業にしてきた軌跡を、培われてきたモラルに着目し描く。 ISBN 978-4-86110-887-7 ¥4400

ひとつとして同じモノがない—トヨタとも生きる「単品モノ」町工場の民族誌 加藤英明(南山大学人類学研究所プロジェクト研究員) 現代工業社会で従来ほとんど光が当たることがなかった単品モノ町工場へのフィールドワークから、そのダイナミズムを明らかにする。 ISBN 978-4-86110-888-4 ¥4300

原爆被爆者の暮らしとトラウマ—絡み合いを描きたす—愛葉由依(広島大学・特別研究員) 日本学術振興会(PD) 晩年になって重い口を開き始めた被爆者や、県外在住の被爆者、乳幼児期被爆者にも光を当て、トラウマをめぐる因果論を当事者の記憶と主観的時間に沿って捉え直す。 ISBN 978-4-86110-886-0 ¥4300

異なる者の出会いと共存—西アフリカ・ムスリムの人類学的聖者伝 坂井信三(南山大学名誉教授) 西アフリカのムスリムたちは、文字を支えられた普遍的宗教と口頭伝承による多元的な知恵との共存をどのように追求してきたのか。 ISBN 978-4-86110-911-9 ¥5000

富士山学への招待—NPOが富士山と地域を救う—渡辺豊博(NPO法人マウンテン・エクスプローラー) 編著 ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500

失敗しないNPO—クラウンテッドワーク三島の20年とイギリスの学が—渡辺豊博(NPO法人クワン・エクスプローラー) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500

カイイ・フェチ／来て踊ろう—日本におけるセネガルのサバルダンス実践 菅野淑(愛知淑徳大学助教) セネガルで踊られるダンス「サバル」が日本で実践されるに至った経緯と実際の様子を、両国における筆者の経験と調査を通して抽出。 ISBN 978-4-86110-885-3 ¥3500

現代韓国占術巡礼—巫者密集地域の民俗誌 吉村美香(愛知大学講師) ISBN 978-4-86110-884-6 ¥3500

揺り動かされるビントゥー寺院—現代インドの世俗主義、サティー女神、寺院の公益性 田中鉄也 ISBN 978-4-86110-856-3 ¥4000

今に向き合い、次につなぐ—諏訪大社御柱祭の祭礼民俗誌 石川俊介(追手門学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-848-8 ¥5000

躍動する聖地—マダガスカル・イメリナ地方におけるトゥアニ信仰の生成と発展 江端希之(和布刈神社権禰宣) ISBN 978-4-86110-850-1 ¥5200

恵みありて、インジェラに集つ—エチオピア正教徒の食をめぐる生活誌 上村知春(国立民族学博物館外来研究員) ISBN 978-4-86110-829-7 ¥6000

越境兵士の政治人類学—英国陸軍クルカ力の軍務と市民権 上杉妙子(明治学院大学研究員) ISBN 978-4-86110-725-2 ¥6000

チベット高原に花咲く養文化 チョウ・ジャンピン(北九州市立大学研究員) ISBN 978-4-86110-847-0 ¥3300

ヴァルミーキとは二人行けばよいのか—現代インドの清掃人カースト差別と公衆衛生の民族誌 増木優衣 ISBN 978-4-86110-827-3 ¥4500

タキ・オンコイ踊る病—植民地ヘル—におけるシャーマニズム、鉱山労働、水銀汚染 谷口智子 編 ISBN 978-4-86110-826-6 ¥4700

取るに足らないものたちの民族誌—チリにおける開発支援をめぐる人類学 内藤順子(早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-825-9 ¥3800

身体を彫る、世界を印す—イレブスミ・タトゥーの人類学 山本芳美(都留文科大学教授) 他 編 ISBN 978-4-86110-803-7 二刷 ¥4000

「私らしき」の民族誌—現代エジプトの女性 格差、欲望 鳥山純子(立命館大学准教授) ISBN 978-4-86110-786-3 ¥2200

富山山学への招待—NPOが富士山と地域を救う—渡辺豊博(NPO法人マウンテン・エクスプローラー) 編著 ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500

失敗しないNPO—クラウンテッドワーク三島の20年とイギリスの学が—渡辺豊博(NPO法人クワン・エクスプローラー) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500

カイイ・フェチ／来て踊ろう—日本におけるセネガルのサバルダンス実践 菅野淑(愛知淑徳大学助教) セネガルで踊られるダンス「サバル」が日本で実践されるに至った経緯と実際の様子を、両国における筆者の経験と調査を通して抽出。 ISBN 978-4-86110-885-3 ¥3500

現代韓国占術巡礼—巫者密集地域の民俗誌 吉村美香(愛知大学講師) ISBN 978-4-86110-884-6 ¥3500

揺り動かされるビントゥー寺院—現代インドの世俗主義、サティー女神、寺院の公益性 田中鉄也 ISBN 978-4-86110-856-3 ¥4000

今に向き合い、次につなぐ—諏訪大社御柱祭の祭礼民俗誌 石川俊介(追手門学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-848-8 ¥5000

躍動する聖地—マダガスカル・イメリナ地方におけるトゥアニ信仰の生成と発展 江端希之(和布刈神社権禰宣) ISBN 978-4-86110-850-1 ¥5200

恵みありて、インジェラに集つ—エチオピア正教徒の食をめぐる生活誌 上村知春(国立民族学博物館外来研究員) ISBN 978-4-86110-829-7 ¥6000

越境兵士の政治人類学—英国陸軍クルカ力の軍務と市民権 上杉妙子(明治学院大学研究員) ISBN 978-4-86110-725-2 ¥6000

チベット高原に花咲く養文化 チョウ・ジャンピン(北九州市立大学研究員) ISBN 978-4-86110-847-0 ¥3300

ヴァルミーキとは二人行けばよいのか—現代インドの清掃人カースト差別と公衆衛生の民族誌 増木優衣 ISBN 978-4-86110-827-3 ¥4500

タキ・オンコイ踊る病—植民地ヘル—におけるシャーマニズム、鉱山労働、水銀汚染 谷口智子 編 ISBN 978-4-86110-826-6 ¥4700

取るに足らないものたちの民族誌—チリにおける開発支援をめぐる人類学 内藤順子(早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-825-9 ¥3800

身体を彫る、世界を印す—イレブスミ・タトゥーの人類学 山本芳美(都留文科大学教授) 他 編 ISBN 978-4-86110-803-7 二刷 ¥4000

「私らしき」の民族誌—現代エジプトの女性 格差、欲望 鳥山純子(立命館大学准教授) ISBN 978-4-86110-786-3 ¥2200



モビリティと物質性の人類学

古川不可知 (九州大学大学院比較社会文化
研究院専任講師) 編

人と物が行き交うグローバルな世界と移動論的転回。大地と海の起伏を感じ、乗り物に揺さぶられ、汗をかきながら移動する。人々と「私」の経験とともに、モビリティを再考する論集。

A5判並製・二八〇頁 定価(3,300円+税)
ISBN 978-4-86110-912-6



海と陸地のリズム、女たち

モザンビーク島の切れては繋がる近所づきあい

松井梓 (人間文化研究機構人間文化研究創発センター研究員)

モザンビーク島で、近所に住む女性同士は家族同然の親密なつながりを保っている。しかしそれは時にドライに切り離され、劇的に変化する。島の人間関係と暮らしを、生計や歴史も含みこんだ「リズム」から描き出す。

A5判上製・三三八頁 定価(5,000円+税)
ISBN 978-4-86110-954-6



歴史が生みだす紛争、紛争が生みだす歴史

現代アフリカにおける暴力と和解

佐川徹 (慶應義塾大学准教授)、竹沢尚一郎 (国立民族学博物館名誉教授)、松本尚之 (横浜国立大学都市イノベーション研究院教授) 編

アフリカにおけるさまざまな紛争や暴力の論理と動態を、「無秩序」や「野蛮さ」のイメージから距離を置きつつ、その政治経済・歴史の側面に注目しながら解き明かす。

A5判上製・二九頁 定価(3,600円+税)
ISBN 978-4-86110-953-9



共在する人格

歴史と現在を生きる

福井栄二郎 (島根大学准教授)

太平洋に浮かぶ小島で、伝統は大きく変容し、その傷跡は現在も残されている。そのなかで彼らの「人格」はいかに変容し、持続したのか。著者の長年のフィールドワークが結実した豊穡な民族誌。

A5判上製・三七四頁 定価(5,000円+税)
ISBN 978-4-86110-908-9

- 嗜好品から見える社会 大坪玲子 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロシ・谷憲一・オックスフォード大学客員研究員) 編 ISBN 978-4-86110-802-0 ¥4500
- ノー・ルール! 英国における民俗フットボールの歴史と文化 吉田文久 (日本福祉大学教授) ISBN 978-4-86110-783-2 ¥4300
- 日系インドネシア人のエスノグラフィ―紡がれる日系人意識 伊藤雅俊 (日本大学助教) ISBN 978-4-86110-769-6 ¥4200
- 東アジアにおける南島研究―南島史学会創立50周年記念論集 南島史学会編 ISBN 978-4-86110-742-9 ¥5900
- 病いと薬のコンモロジー―ヒマラヤ東部タワンにおける手ハット医学、憑依、妖術の民族誌長岡慶 (日本学術振興会特別研究員) ISBN 978-4-86110-710-8 ¥4000
- 愛と共生のイスラーム―現代エチオピアのスーフイスムと聖者崇拜 石原美奈子 (南山大学教授) 編者 ISBN 978-4-86110-730-6 ¥6300
- エチオピア帝国再編と反乱のヤマ―農民による帝国支配への挑戦 真城百華 (上智大学教授) ISBN 978-4-86110-721-4 ¥4200
- 家族を生み出す―台湾をめぐる国際結婚の民族誌 横田祥子 (滋慶県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-709-2 ¥3600
- インド・剥き出しの世界 田中雅一・石井美保・山本達也編 ISBN 978-4-86110-665-1 ¥4800
- 親子とは何か―ナイジェリア・ハウサ社会における「里親養育」の民族誌 梅津綾子 (愛知学院大学ほか講師) ISBN 978-4-86110-723-8 ¥4100
- 持続可能な開発における「文化」の居場所―「誰一人取り残さない」開発への応答 関根久雄編 ISBN 978-4-86110-723-8 ¥4100
- アフリカにおけるジェンダーと開発―女性の収入向上支援と世帯内意思決定 甲斐田きよみ ISBN 978-4-86110-700-9 ¥4300
- 現代世界の呪術―文化人類学的探究 川田牧人・白川千尋・飯田卓編 ISBN 978-4-86110-691-0 ¥4500
- 同定の政治―転覆する声―アルゼンチンの「失踪者」と日系人 石田智恵 (早稲田大学准教授) ISBN 978-4-86110-678-1 ¥3600
- ホルネオ 森と人の関係誌 佐久間香子 (東北学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-684-2 ¥3900
- 依存からひろがる人生機会―インド・スラム地域の間人開発と「子育ての民主化」 茶谷智之 ISBN 978-4-86110-677-4 ¥3700

- アフリカの森の女たち B・ヒューレット 著 / 服部志帆・大石高典・戸田美佳子 訳 ISBN 978-4-86110-682-8 ¥3100
- カンボジア 共生の空間―慰霊・負の遺産・コミュニティ 牧野冬生・島崎裕子 著 ISBN 978-4-86110-661-3 ¥3600
- 21世紀のメキシコ革命―オアハカのストリートアーティストがつむぐ物語歌山越英嗣 (都留文科大学准教授) ISBN 978-4-86110-675-0 ¥3600
- 宗教と開発の人類学―グローバル化するポスト世俗主義と開発言説 石森大知・丹羽典生編 ISBN 978-4-86110-651-4 ¥4000
- まちづくりのエスノグラフィ―《つくば》を織り合わせる人類学的実践 早川公 (大阪国際大学准教授) ISBN 978-4-86110-626-2 二刷 ◆ ¥3700
- 流れをよそおうレバノンにおける相互行為の人類学 池田昭光 (明治学院大学助教) ISBN 978-4-86110-587-6 ¥3500
- 貧困と連帯の人類学―ブラジルの路上市場における一方的贈与 奥田若菜 (神田外語大学教授) ISBN 978-4-86110-532-6 ◆ ¥3700
- 「共感」へのアプローチ―文化人類学の第一歩 渥美一弥 (自治医科大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-497-8 三刷 ◆ ¥2000
- 途上目的地―スペイン・サンティアゴ徒歩巡礼路 旅の民族誌 土井清美 (二松学舎大学准教授) ISBN 978-4-86110-466-4 ◆ ¥4000
- Social Development, Culture, and Participation 阪本公美子 (宇都宮大学教授) ISBN 978-4-86110-174-8 ◆ ¥6476
- 癒しと呪いの人類学 (第2版) 板垣明美 (横浜国立大学准教授) ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

- シリーズ 来たるべき人類学 (全五巻)
 - セックスの人類学 奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐一編 ISBN 978-4-86110-180-9 二刷 ¥1905
 - 経済からの脱出 織田竜也・深田淳太郎編 ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381
 - 宗教の人類学 吉田匡興・石井美保・花瀬馨也編 ISBN 978-4-86110-247-9 ¥1905
 - アジアの人類学 片岡樹・シンジルト・山田仁史編 ISBN 978-4-86110-357-5 二刷 ¥2381
 - 人と動物の人類学 奥野克巳・山口未花子・近藤秋編 ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381
- 刊行予定 (タイトルは仮)
 - ▼随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功・新井興 遠選集 コールズニエル編 経緯の息吹 異邦の哲学者 森野雄介・仏教偏頗の研究 岩松茂夫・月 印 積 瀬 河 瀬 幸 夫 訳 カントの人權思想 菅沢龍 文・カント倫理学と理念の問題 宮村悠介・ケ アと欲待の政治 出雲春明・デカルトによる修 練の哲学 津崎良典・フイヒテ伝 湯浅正彦他訳
 - ▼ハイデガー 生と存在の哲学 高井ゆと里・接 拶の哲学 鳥越寛生・「仮面」としてのディオオ ニ ヌ ス 齋藤直樹・いのちのどこが大切なのか 森 一 郎・神による(記憶)と死者への祈り 佐崎 愛・在日コリアン教会の戦後 荻翔一・現代のヒ ン ド ウー・ナ シ ョ ナ リ ス ト・イ デ オ ロ キー の 分 析 近藤光博・T.S. Eliot 山口敦子・ジョー・ オートン 矢島直子・バーナード・ショー 戯曲 集 森川寿他・カフカ死の軌跡 松原好次・フラ ン ツ・カフカ 創作と流れ(あなただ)との出会 い 三根靖久・バルザック研究アラカルト 谷本 道 昭・幻想と怪奇の英文学 V 東雅夫・下楠昌 哉・空腹のアイランド 田多良俊樹・アイル ランド文学の核心 原田範行編 Contemporary Irish Plays 佐竹晶子・スコットランドの詩と 音楽 米山優子・照山頭人編 フランス魅惑と不 安 北垣徹・伝承で読み解く文化 藤倉恵子・ イギリス湖水地方 白井雅美・ミルトン研究案 内 ミ ル ト ン 協 会 編 ヴラジスラフ・ホダセヴィ チ 詩集 三好俊介・アメリカ詩読本 江田孝臣・ 沢崎順之助・富山英後・我ハ土ナリ 佐藤晴雄 訳・老アブー 高井邦子・大野テコンフ 泰子訳・ 一 九 〇 〇 年 ころ の ヘル リ ン の 幼 年 時 代 田 邊 恵 子 訳・「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子・メ タファーから読む樋口一葉 笹川洋子・芥川龍 之介の中国遊歴 藤谷浩悦・荒野へ 中井農 作家・吉屋信子論 山田昭子・戦争をめぐる戦 後沖縄文学の諸相 柳井貴士・東日本大震災後 の文学と他者 加島正浩・精読「紅蓮夢」池間 里代子・左伝の女たち 尾崎保子・自律のため の教育学 大川洋・難刀と学校教育 井上アヤチ ▼批判的思考と教育 渡部竜也訳・教育の理念・ 歴史・思想 藤井美穂・中村美智太郎編・大学の 理念 豊崎光衛訳・ドゥルーズ思想における人 間形成論 松枝拓生・ジョン・デューイ教育思 想の再解釈 生澤繁樹・哲学教育論 生澤繁樹・ 教育人間学の再検討 宮嶋秀光・教授学への招 待 松田充・宮本勇・熊井将太訳・師範学校と 図画教育 増田金吾・教師教育五〇年 横須賀薫 ▼学校改革としてのイェナ・プラン 安藤和久・ 共生の創成過程に発現する(当事者性の邂逅) 後藤聡美・誰ひとり死なせない学校づくり 佐 野和規・発達支援、その先へ 永井祐也・日本 スポーツ界におけるアマチュアリズムの源流 根本想・オリンピックの平和構想に関する実践 哲学 野上玲子・暮らしの日本語(スペイン語 版)長谷川哲子・暗記嫌いのためのロジカル英 語入門 佐藤美弥子・ことばと教育 橋本ゆかり ▼西ドイツにおけるポスト革命的運動 川崎聡史 ▼「じゃがたらお春・更紗の時代 白石広子・外国 人労働者としての難民 小野塚和人・移住者支 援の国際社会学 小ヶ谷千穂・エッセイ風都市

- 社会学 吉瀬雄一・江戸川大学現代社会学科テキ スト 江戸川大学現代社会学科・立教大学社会学科 デザイン研究科テキスト 立教大学社会学科 デザイン 研究科 田中耕太郎の「人格の完成」思想 山崎 あすか・現代中東政治学 末近浩太・越境する歌 舞伎 浅野久枝・長唄の世界へようこそ 細谷 朋子・外交としての芸能 我部大和・17〜18世 紀のポーランド演劇史 谷山和夫訳・日本にお けるベル・カントの父 アドルフ・サルコリ 直江学美・1950〜60年代の宝塚歌劇に おける多様な取り組み 中本千晶・ストリップ 73年史 西条昇・女子プロレスの誕生にみるイ ンターセクショナリティ 瀬戸智子・コロナ状 況を通じて考える芸能と場 吉田ゆかり・増野亜 子編・益裁 川崎仁美・イタリア・ルネサンス と東洋 田辺清・文化という名の開発 土屋正臣 ▼教養と大衆の間で 武田康孝・テレビ・ドキ ユメンタリーにおける社会的影響力の研究 浅 野麻由・コーポレート・ステークホルダー 豊 田聡・CQという異文化適応力 下村冬彦・占 領期日本における「移動的な社会」と観光の 関係 遠藤理一・おみやげ観光学 鈴木涼太郎・ 柑橘の文化史 花木宏直・危機の時代 料理家の 群像 西川和樹・アグリマスに魅せられて 大月 和彦・深田晋・健康自然塾 川村協平・在宅医 療が「生活を支える」とは何か 景山晶子・子 育て女性医師のキャリア形成とジェンダー構 造 内藤真弓・産後の(風) 諸昭善・葬儀変容 と生活改善 大場あや・マスコ・パノラマ 日本 版 水島希・住田朋久訳・1998年のインフ ル エ ン ザ パ ン デ ミ ッ ク 伊 藤 雄 志 他 訳・韓 国 の 地 方 民 家 佐 々 木 史 郎・Low Fertility and Local Values through The Lens of Demographic Anthropology 森木美恵・パプアニューギニア の華人 市川哲・先住民と情報化する社会の関 わり 平野智佳子他・感染症の人間学 浜田明範 他・アフリカ研究と文化人類学 関谷雄一・変 貌するエチオピアの光と影 石原美奈子他・ヘル プアルブアルの世界 板垣明美・集まる民具、 集める人 川邊咲子・モノから見た宗教の世界 八木百合子編・妖怪文化の現代的活用に関する 研究 市川寛也・一九世紀末に活躍した日本人 彫師たち 山本芳美・人魚表象をめぐる 中丸 禎子・長床と神社研究 白井正子・道をむすぶ 時をたがやす 岡田紅理子・文化遺産としての 巡礼路 伊藤文彦(東洋英和女学院大学社会学 科 学 研 究 叢 書)・歴史資料としての近現代日本と 東アジア視覚文化(横浜市立大学新叢書)・主 観的韓国論

出版をお考えの方へ
清新なお原稿をお待ちしています。
お気軽にお問い合わせください。

春風橋人

地中の自然生を掘るには、まず零余子を見つけてなければならぬ。これも幽と顕。(三)
春風新聞 第三号 二〇二四年四月二五日発行
発行者 三浦衛 発行所 春風社
印刷:シノノ書籍印刷 レイアウト:矢萩多聞